

新聞広告取引 E D I

標準メッセージ利用のためのガイドライン

2003年3月
第1.3版

社団法人 日本新聞協会
社団法人 日本広告業協会

目次

1. ガイドラインの位置づけ-----	4
2. モデル標準フロー-----	5
標準フロー-----	5
(1) 通常時-----	7
(2) 通常時、切替・色などで原稿に関する事前連絡が必要な時-----	9
通常時以外のフロー-----	11
(3) 緊急な申込-----	12
(4) 雑報買切-----	13
(5) フリーユース-----	15
(6) 広告会社変更 (広告会社 A 広告会社 B) -----	16
(7) その他の取引-----	18
3. メッセージ交換の方法-----	19
3.1 メッセージの形式 (マルチ明細の考え方) -----	20
3.2 メッセージのサブセット化-----	22
4. メッセージの処理方法-----	23
4.1 処理の手順-----	23
(1) データ交換順序-----	23
(2) データレコードの作成方法-----	24
(3) 受信データの処理手順-----	27
4.2 標準メッセージ集 1.3 版の請求メッセージと 1.2 版の請求メッセージとの関係について-----	28
4.3 新聞社側で発生した申込-----	29
4.4 広告主コードが変更される場合-----	29
4.5 受付確認 “ N G ” の利用方法-----	29
4.6 送稿メッセージの使い方-----	30
(1) メッセージの構造-----	31
(2) 使用例 (標準メッセージの作成イメージ) -----	35
4.7 請求・支払メッセージの使い方-----	41
5. データ項目の利用-----	58
5.1 データ項目の取り扱い-----	58
5.2 特殊なデータ項目の利用-----	58
(1) フリー項目 (40030) の利用-----	58
(2) 特殊なデータ項目用暫定タグ No の申請及び採番-----	58

6.業務コードの利用-----	59
6.1 統一企業コード-----	59
6.2 新聞社固有コードへの対応-----	59

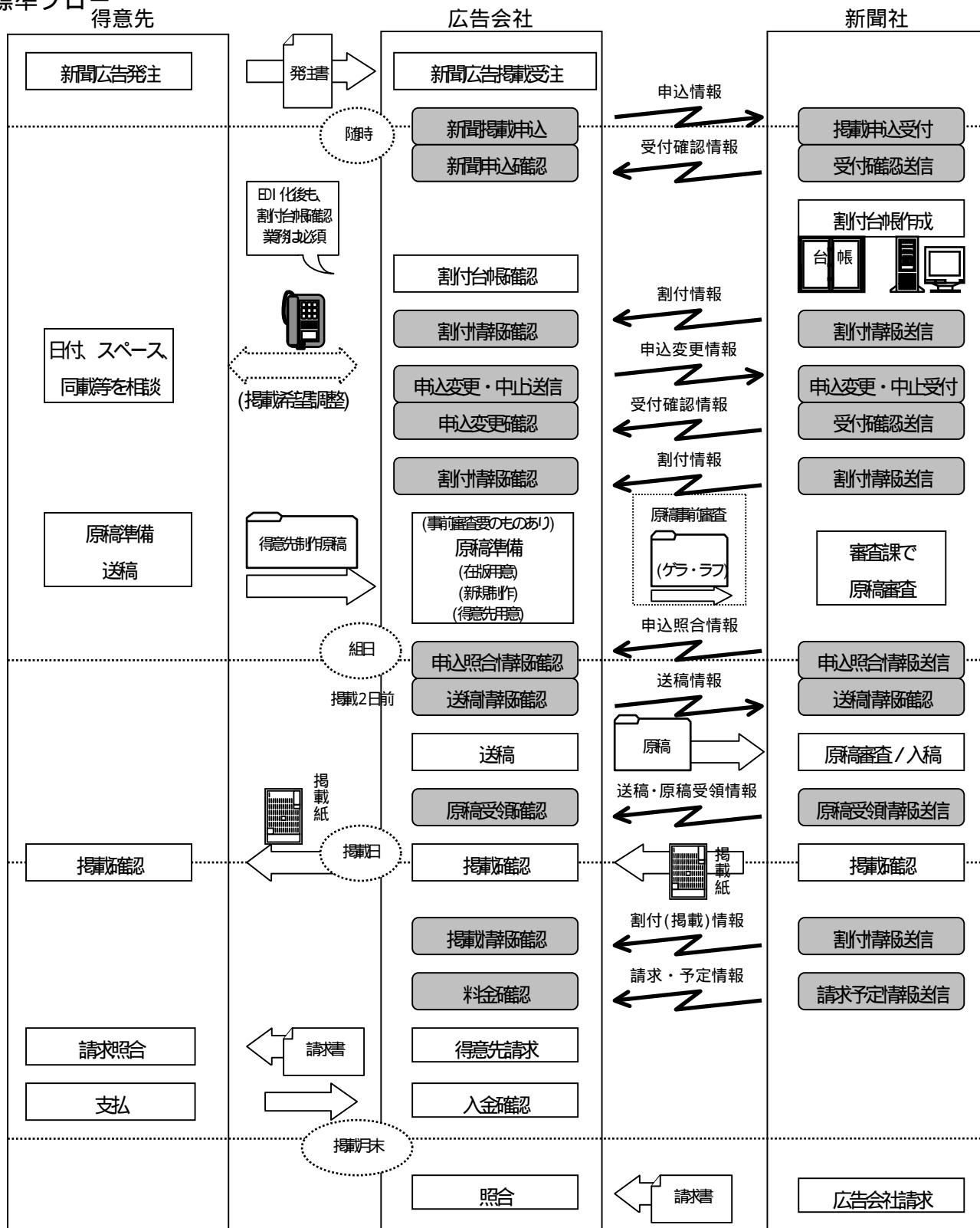
1. ガイドラインの位置づけ

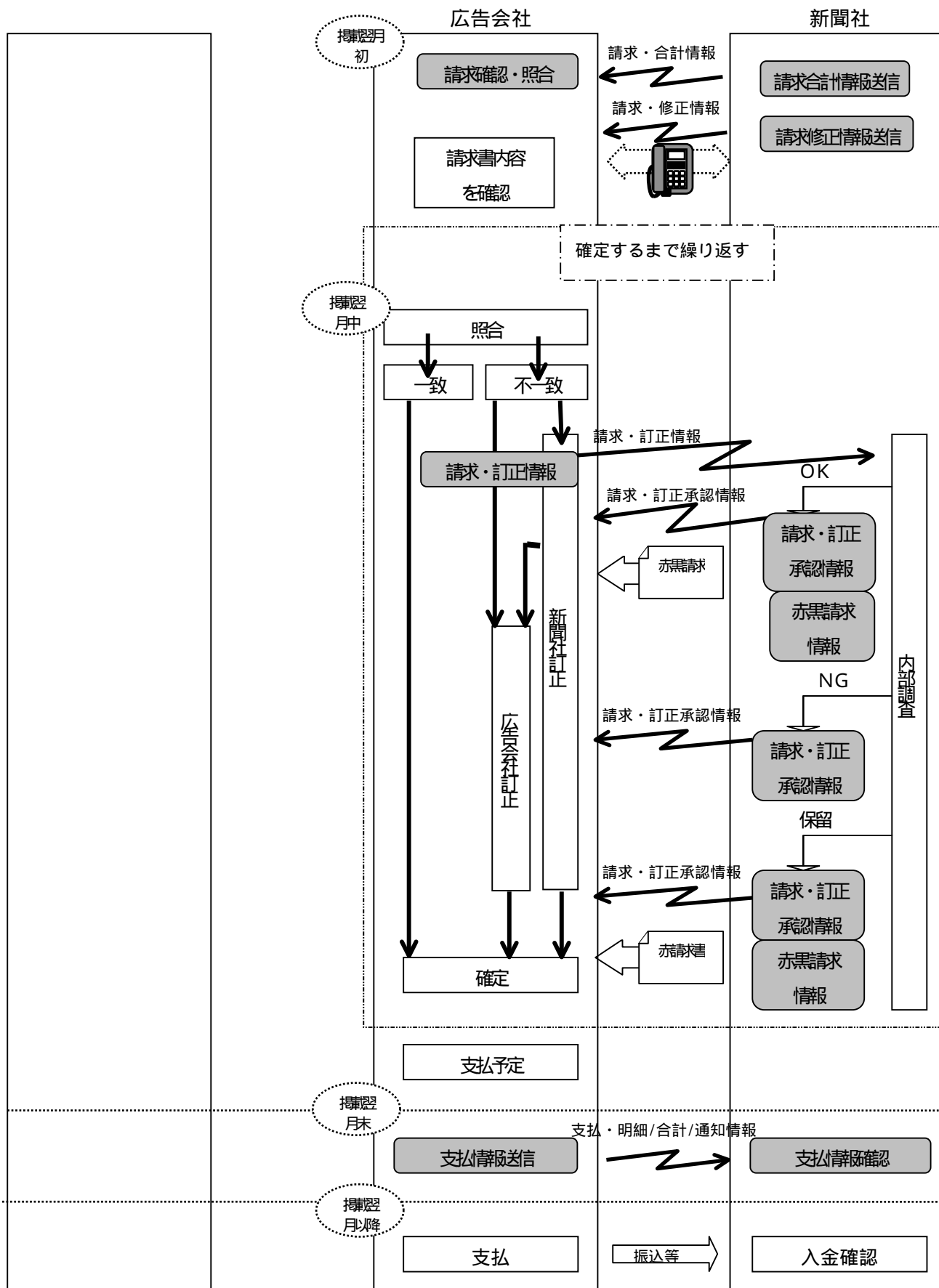
新聞広告取引のEDIでは、広告申込や割付、送稿、請求、支払などのメッセージを広告会社と新聞社との間で交換する。メッセージの内容は標準化され、「新聞広告EDIのための標準メッセージ」として管理されている。このガイドラインでは標準メッセージの解釈の違いによる混乱が無いよう、標準メッセージの意味や利用方法を説明する。

本書はあくまでガイドラインであり、仕組みづくりの上で指針を与えるものである。データ交換の際には各社固有の条件も十分想定されるので、具体的な取引形態については本書を参考の上、当事者間で取り決める必要がある。

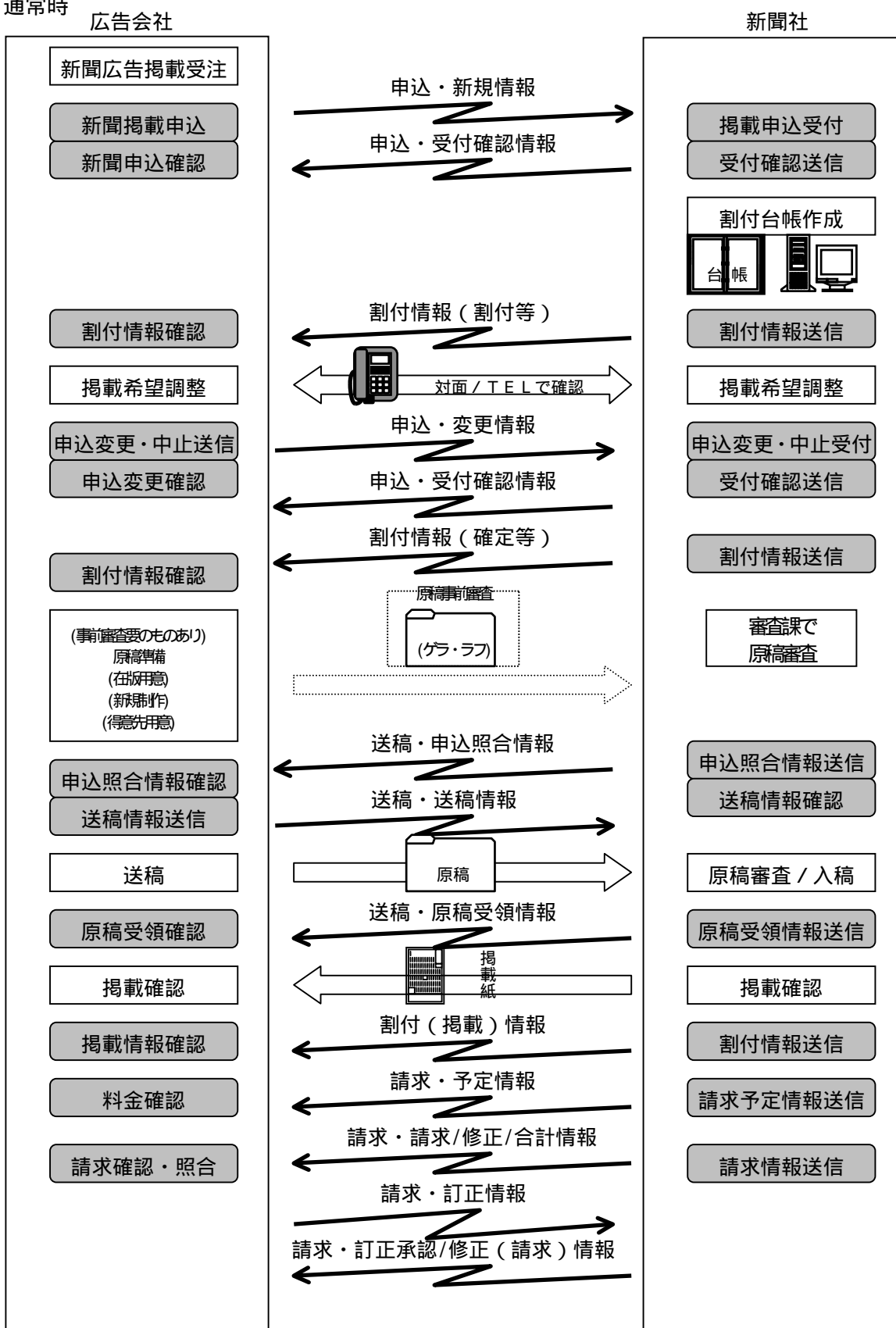
2. モデル情報フロー

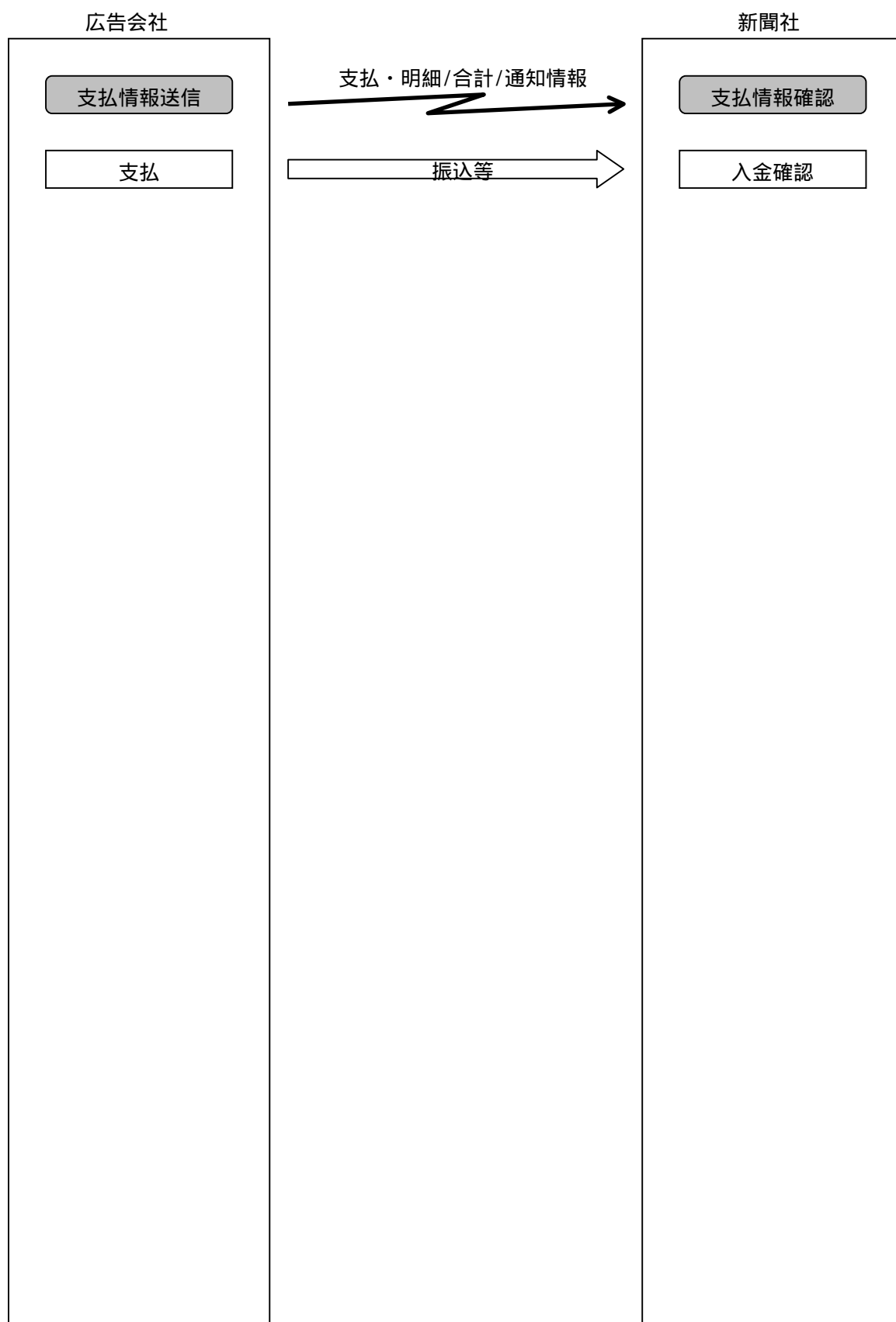
標準フロー
得意先



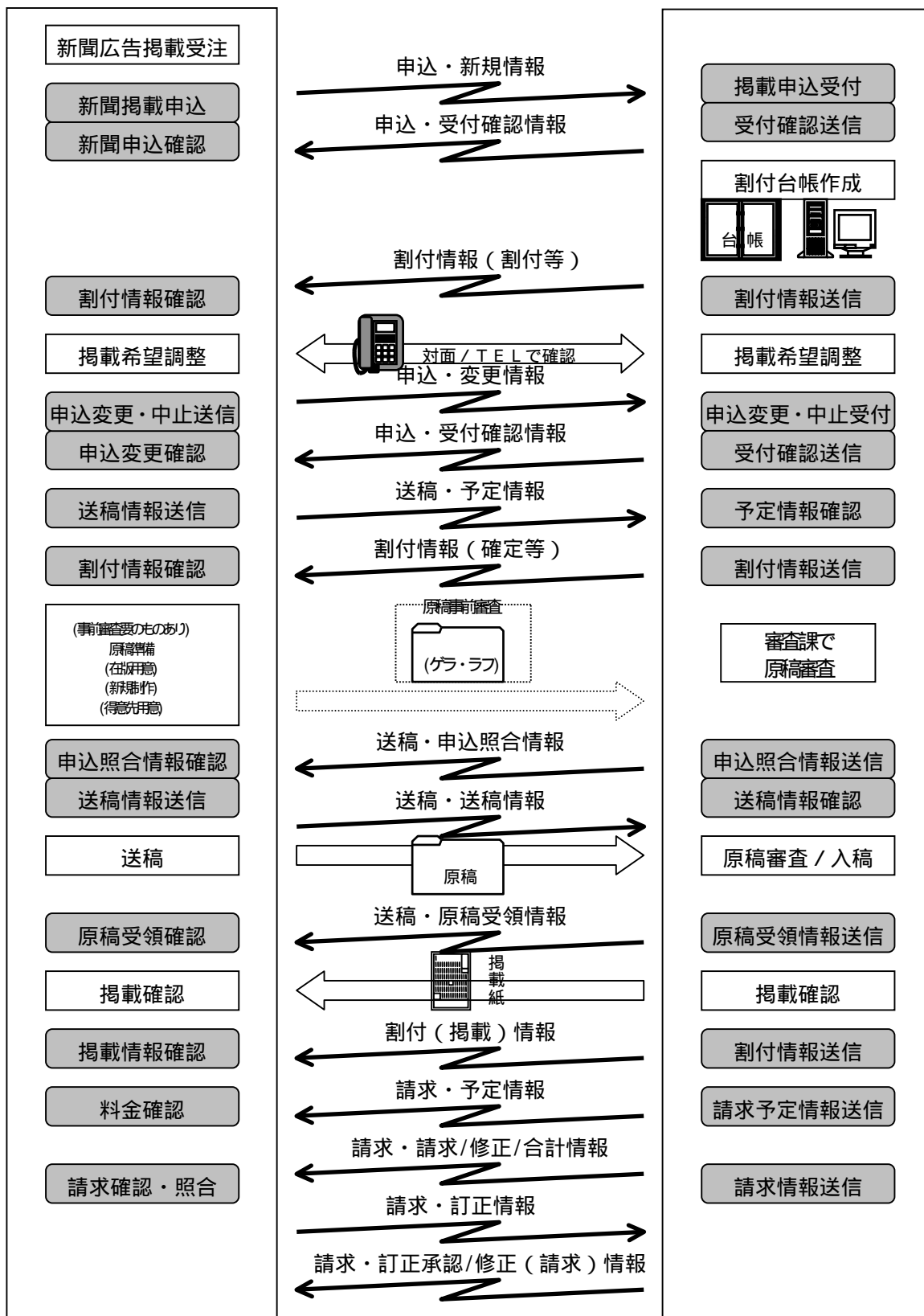


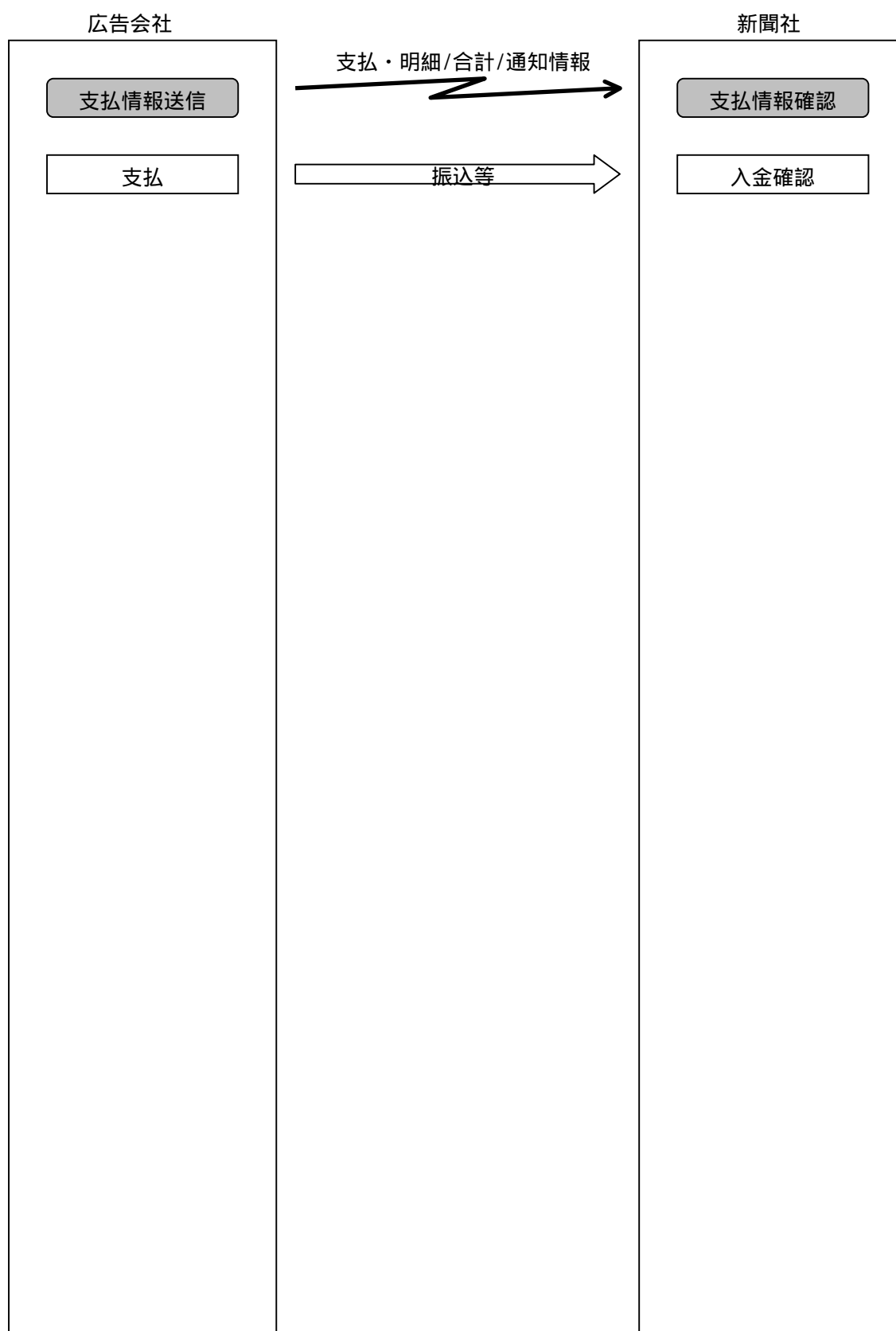
(1) 通常時





(2) 通常時、切替・色などで原稿に関する事前連絡が必要な時
 広告会社





通常時以外のフロー

通常時以外の取引形態について、その定義とEDIフローを以降に示す。

(3) 緊急な申込

時間的に緊急を要する場合に、新聞社から割付情報を発生後、掲載以降に広告会社から正式な申込を行う場合を「緊急な申込」とする。

(4) 雑報買切

特定スペース（雑報）を継続的に買い切る場合を「雑報買切」とする。

(5) フリーユース

以下の要素を持つ取引形態を「フリーユース」とする。

1. 原稿内容確定
2. 広告主確定
3. 料金総額確定
4. 掲載面、掲載回数未定
5. 掲載期間確定（年月は確定）
6. 最低保証段数
7. 申込一括、請求一括（申込：請求 = 1：1）

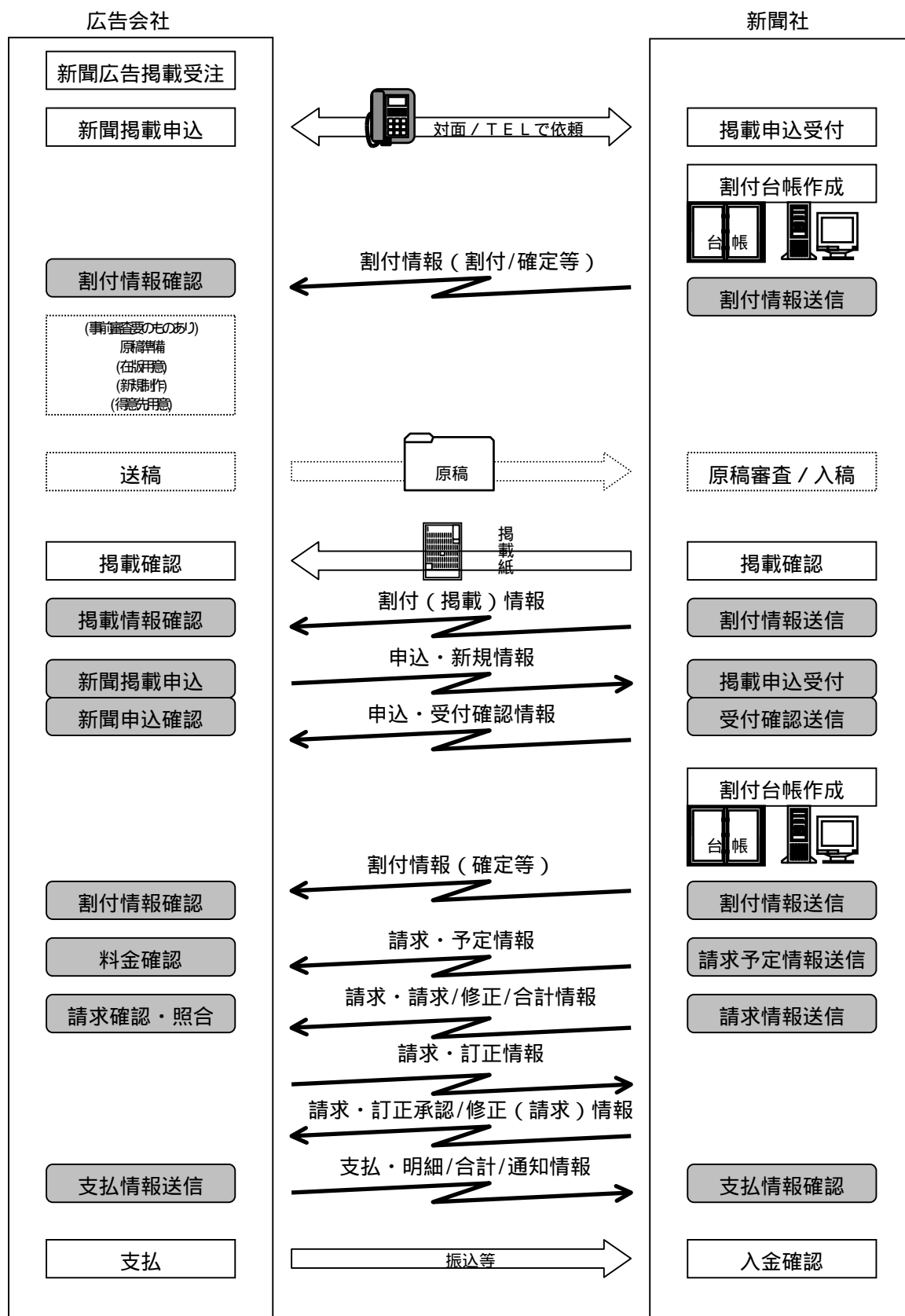
(6) 広告会社変更

途中で扱い広告会社に変更になった場合、「広告会社変更」とする。

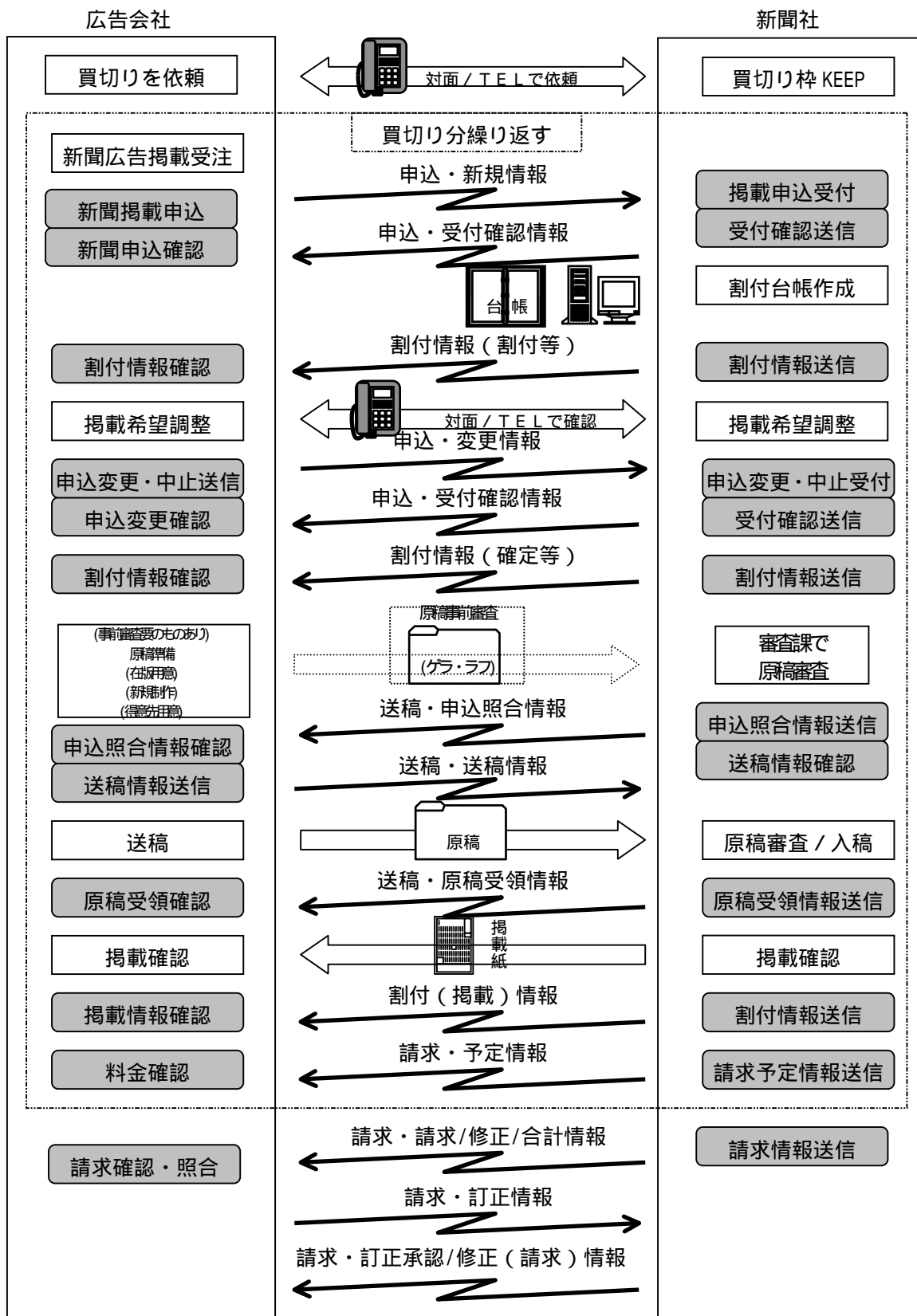
(7) その他の取引

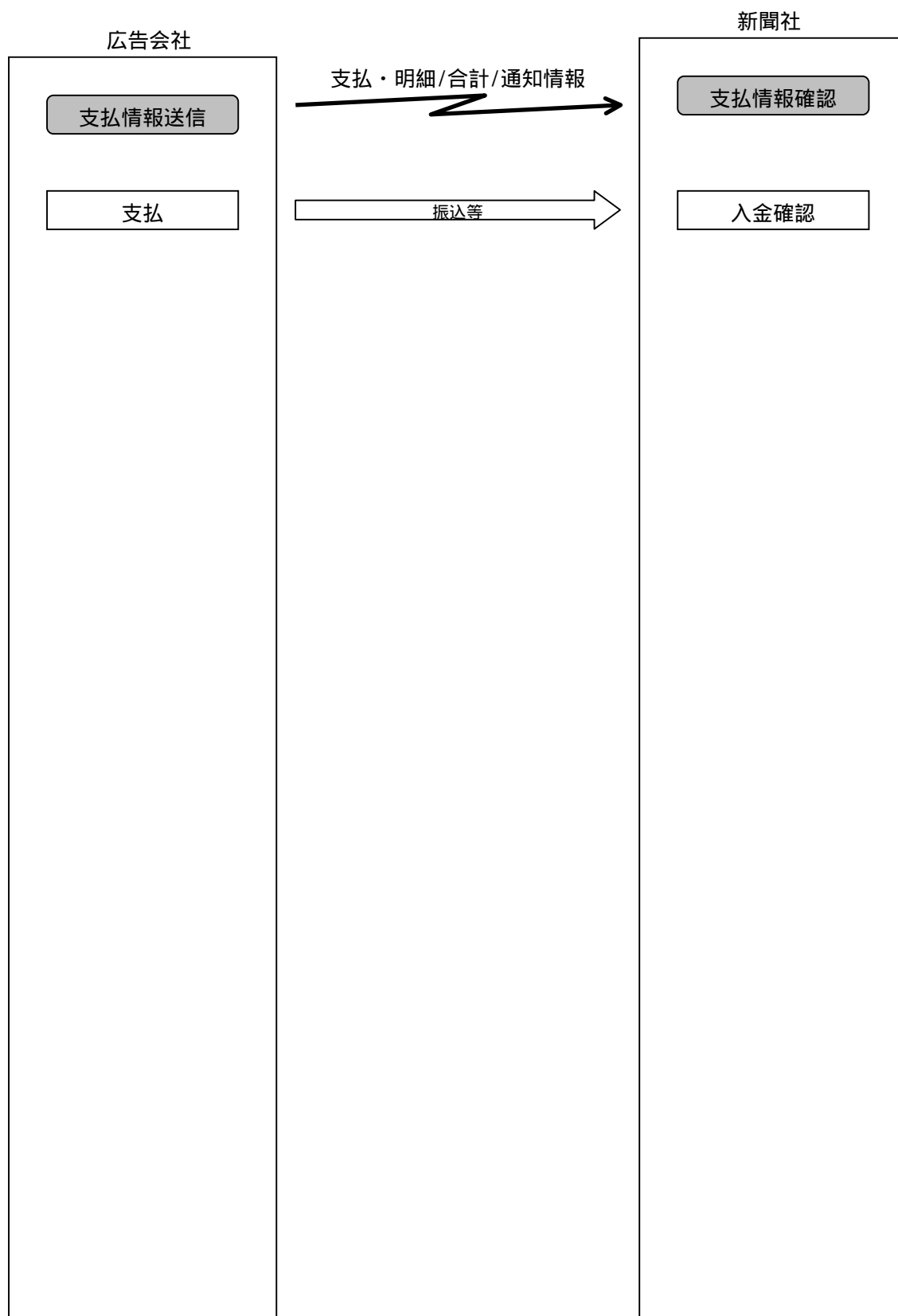
(3)～(6)以外のEDI運用上、特殊な取引。

(3) 緊急な申込

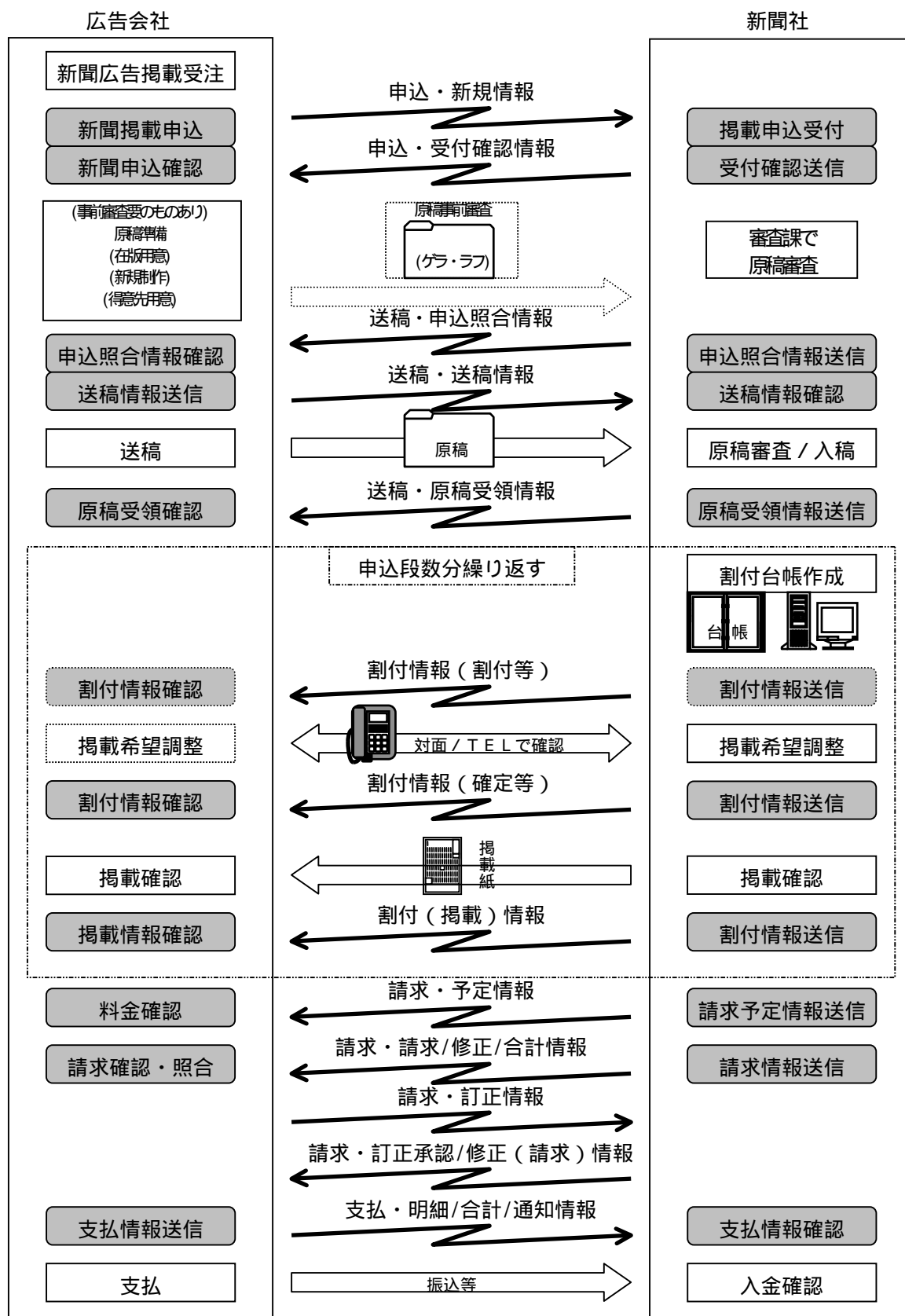


(4) 雑報買切

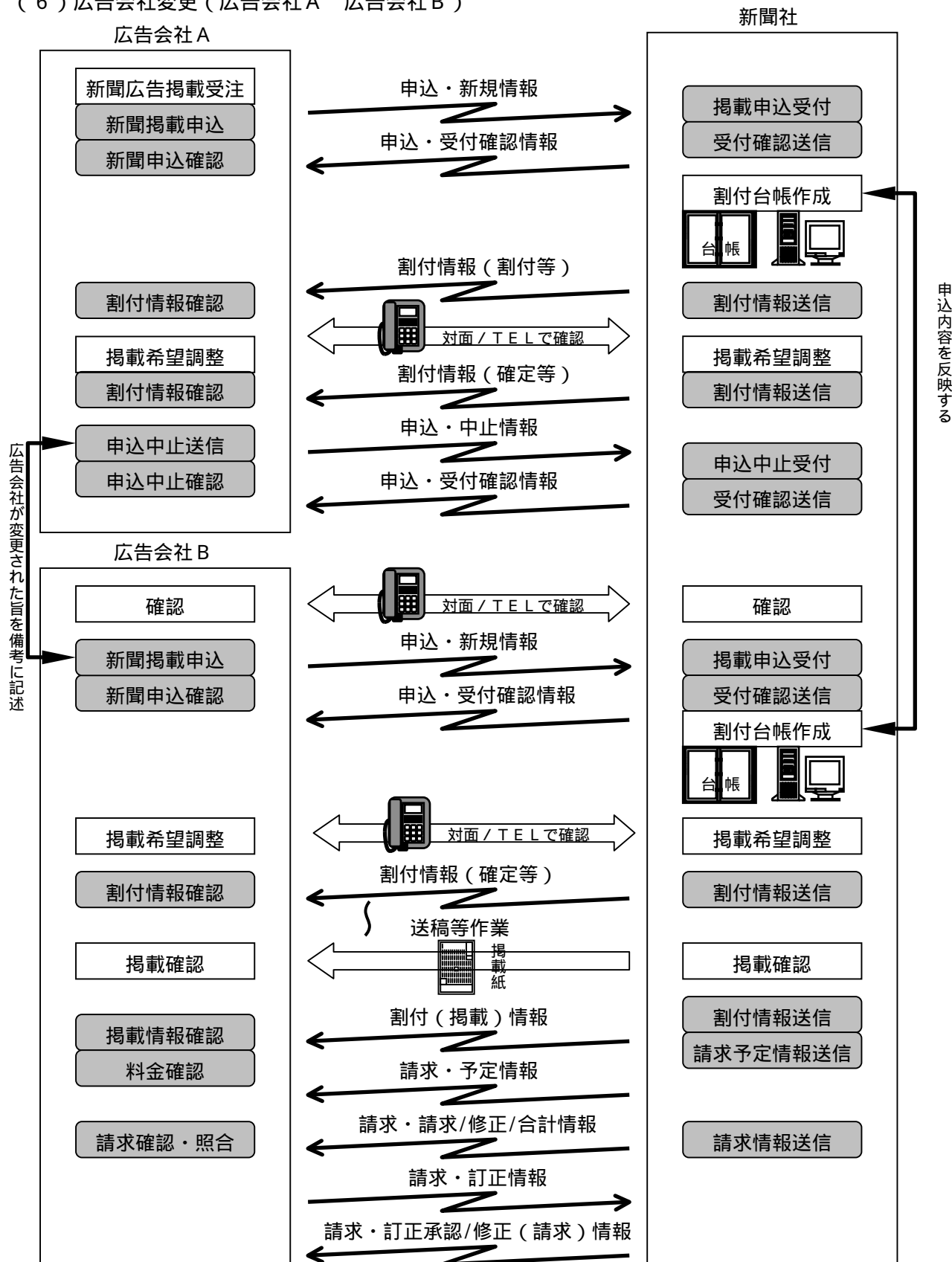


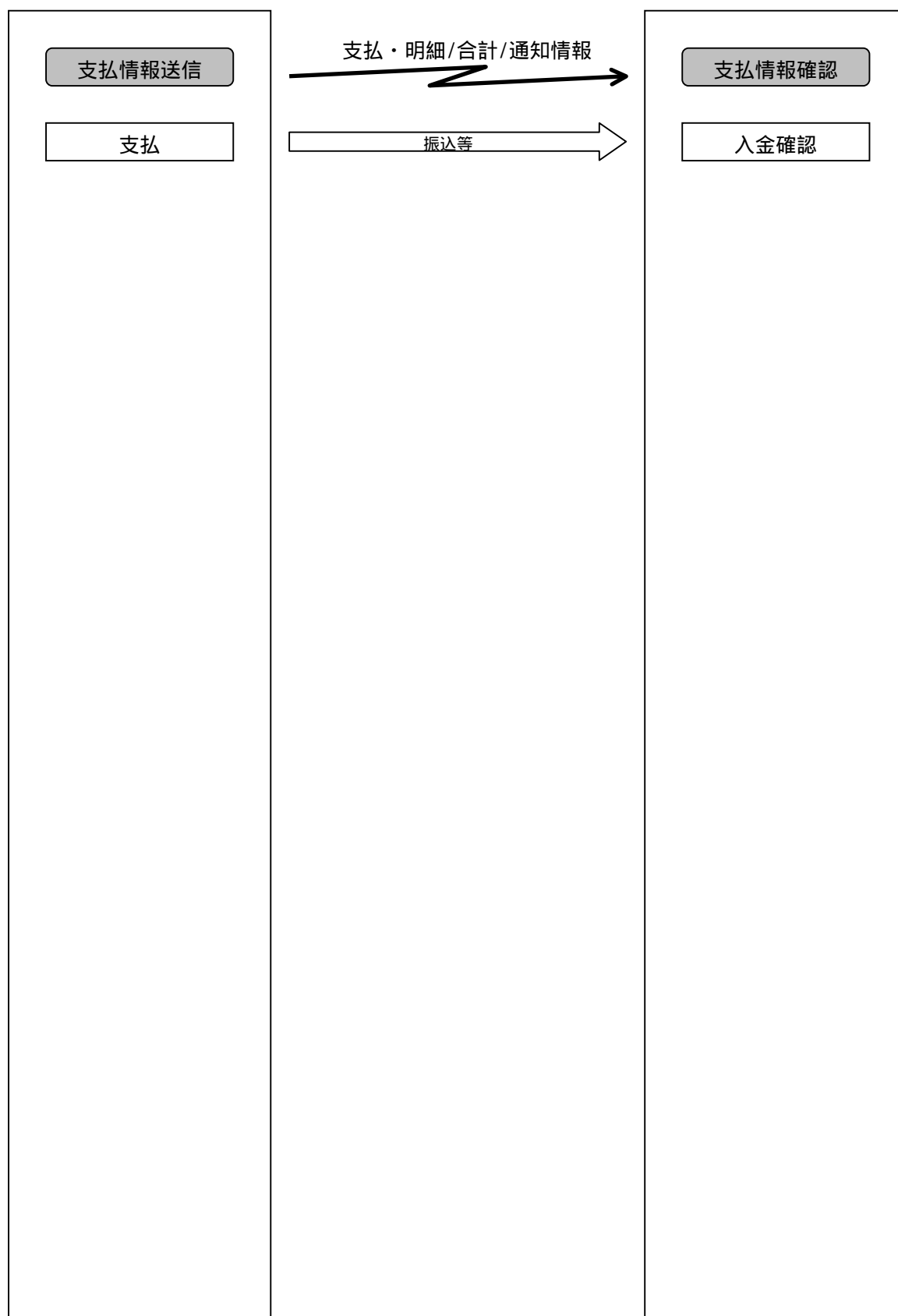


(5) フリーユース



(6) 広告会社変更 (広告会社 A 広告会社 B)





(7) その他の取引

買切（雑報買切以外）のような特殊な取引においては、新聞社、広告会社の社内システム事情や既存の商習慣に依存するところが大きいため、それらについては運用上個別の取り決めが必要となる。

1) 個別の取り決めが必要となる取引形態

- ・ 連合（社名連合、名刺連合など）
- ・ 企画買切（ある企画などを実現するため、その日の紙面の全部または一部を、ある広告会社が責任を持ってプロモートするケース）
- ・ 県版買切
- ・ タイアップ

申込、請求の単位、企画買切、県版買切等で申込時点で広告主が全て決まらない場合等、運用上の取り決めが必要となる。

2) 大きさ「一枠」を設定する取引形態

「一枠」とは申込時に便宜上使用されるスペースの一単位であり、取引形態により「一枠」を使用するケースが発生する。

- ・ 企画広告の掲載単位。（1 広告主の掲載単位でサイズが明確でない場合）
- ・ 連合企画（名刺、社名連合）の 1 広告主分。
- ・ パブスペースの単位。
- ・ サイズの条件に当てはまらないものは全て。
- ・ 変形などの表現も 1 枠。

大きさが特定出来ない場合は、全て「一枠」で表現する。

（両者間で個別に運用の取り決めを行う。）

「一枠」の大きさ設定方法については、「標準メッセージ集」を参照。

3. メッセージ交換の方法

3.1 メッセージの形式（マルチ明細の考え方）

申込・割付・送稿・請求・支払のメッセージは、1対1に対応することを原則とする。つまり、1本の申込は割付も送稿も請求も支払も1本になり、それぞれの関連付けは申込Noで行うことができる。全国紙などで申込先の本支社が異なる時も、各本支社で共通となる内容はメッセージの共通部分へ、異なる内容はメッセージのマルチ明細部分へ設定する。なお、請求・修正、請求・合計についてはその性格上関連付けできない場合が多くある。

マルチ明細部分へ複数の本支社のデータを設定したときは、次の点に注意を要する。

- ・申込と割付、送稿では一部の本支社のデータに変更があっても全ての本支社の最新データを設定して送り直す。
- ・請求は1回限りとする。月またがりの掲載などで東京・西部は当月請求、大阪・名古屋は次月請求の時は、当月のデータには東京と西部の請求だけ設定し（つまり大阪・名古屋は設定しない）、次月のデータには大阪と名古屋の請求だけ設定（つまり東京・西部は設定しない）する。

（例1）本支社が1ヶ所の新聞社へ申込をする場合

申込・新規	申込・変更	申込・受付	割付	送稿	請求
No.1234567	No.1234567	No.1234567	No.1234567	No.1234567	No.1234567
共通部分	共通部分	共通部分	共通部分	共通部分	共通部分
マルチ・単独	マルチ・単独	マルチ・単独	マルチ・単独	マルチ・単独	マルチ・単独

（例2）本支社が東京・大阪・名古屋・西部に分かれる新聞社へ申込をする場合

申込・新規	申込・変更	申込・受付	割付	送稿	請求
No.1234567	No.1234567	No.1234567	No.1234567	No.1234567	No.1234567
共通部分	共通部分	共通部分	共通部分	共通部分	共通部分
マルチ・東京	マルチ・東京	マルチ・東京	マルチ・東京	マルチ・東京	マルチ・東京
マルチ・大阪	マルチ・大阪	マルチ・大阪	マルチ・大阪	マルチ・大阪	マルチ・大阪
マルチ・名古屋	マルチ・名古屋	マルチ・名古屋	マルチ・名古屋	マルチ・名古屋	マルチ・名古屋
マルチ・西部	マルチ・西部	マルチ・西部	マルチ・西部	マルチ・西部	マルチ・西部

(例3) 割付内容が地域ごとに異なり、割付データのマルチが増える場合

掲載エリアは掲載範囲コード(40060)や掲載範囲名称(40061)で識別する。

申込・新規	申込・変更	申込・受付	割付	送稿	請求
No.1234567	No.1234567	No.1234567	No.1234567	No.1234567	No.1234567
共通部分	共通部分	共通部分	共通部分	共通部分	共通部分
マルチ・東京	マルチ・東京	マルチ・東京	マルチ・北海道	マルチ・東京	マルチ・東京
マルチ・大阪	マルチ・大阪	マルチ・大阪	マルチ・東北	マルチ・大阪	マルチ・大阪
マルチ・名古屋	マルチ・名古屋	マルチ・名古屋	マルチ・関東	マルチ・名古屋	マルチ・名古屋
マルチ・西部	マルチ・西部	マルチ・西部	・	マルチ・西部	マルチ・西部
			マルチ・近畿		
			マルチ・中国		
			・		
			マルチ・西部		
			マルチ・沖縄		

(例4) 1本支社のみ中止になる場合

西部本社のみが中止になった場合、西部本社分のマルチ明細を削除した形で送信する。

申込・新規	申込・変更	申込・受付	割付	送稿	請求
No.1234567	No.1234567	No.1234567	No.1234567	No.1234567	No.1234567
共通部分	共通部分	共通部分	共通部分	共通部分	共通部分
マルチ・東京	マルチ・東京	マルチ・東京	マルチ・東京	マルチ・東京	マルチ・東京
マルチ・大阪	マルチ・大阪	マルチ・大阪	マルチ・大阪	マルチ・大阪	マルチ・大阪
マルチ・名古屋	マルチ・名古屋	マルチ・名古屋	マルチ・名古屋	マルチ・名古屋	マルチ・名古屋
マルチ・西部					

(例5) カラー広告などで複数種類の原稿が必要な場合

原稿の種類は原稿種類識別で識別する。

申込・新規	申込・受付	割付	送稿・申込照合	送稿・送稿	送稿・原稿受領
No.1234567	No.1234567	No.1234567	No.1234567	No.1234567	No.1234567
共通部分	共通部分	共通部分	共通部分	共通部分	共通部分
マルチ・単独	マルチ・単独	マルチ・単独	マルチ・4色用	マルチ・4色用	マルチ・4色用
			マルチ・バックアップ用	マルチ・バックアップ用	マルチ・バックアップ用

(例6) ディーラー切替などで複数種類の原稿がある場合(申込照合がリンクしていない時)

東京掲載用、埼玉掲載用などの原稿の識別は原稿種類識別で行う。

申込・新規	申込・受付	割付	送稿・予定	送稿・申込照合	送稿・送稿	送稿・原稿受領
No.1234567	No.1234567	No.1234567	No.1234567	No.1234567	No.1234567	No.1234567
共通部分	共通部分	共通部分	共通部分	共通部分	共通部分	共通部分
マルチ・単独	マルチ・単独	マルチ・単独	マルチ・東京	マルチ・単独	マルチ・東京	マルチ・東京
			マルチ・埼玉		マルチ・埼玉	マルチ・埼玉
			マルチ・千葉		マルチ・千葉	マルチ・千葉
			・		・	・
			・		・	・

(例7) ディーラー切替などで複数種類の原稿がある場合(申込照合がリンクしている時)

東京掲載用、埼玉掲載用などの原稿の識別は原稿種類識別で行う。

申込・新規	申込・受付	割付	送稿・予定	送稿・申込照合	送稿・送稿	送稿・原稿受領
No.1234567	No.1234567	No.1234567	No.1234567	No.1234567	No.1234567	No.1234567
共通部分	共通部分	共通部分	共通部分	共通部分	共通部分	共通部分
マルチ・単独	マルチ・単独	マルチ・単独	マルチ・東京	マルチ・東京	マルチ・東京	マルチ・東京
			マルチ・埼玉	マルチ・埼玉	マルチ・埼玉	マルチ・埼玉
			マルチ・千葉	マルチ・千葉	マルチ・千葉	マルチ・千葉
			・	・	・	・
			・	・	・	・

3.2 メッセージのサブセット化

より多くのメリットを引き出すためには、申込（新規、変更、中止、受付確認）、割付、送稿、請求（予定、請求、修正、合計、訂正、訂正承認）、支払（通知、合計、明細）のメッセージを全て用いたEDIを行うことが望まれる。

しかし、これら全てのメッセージを用いなければEDIが行えないわけではない。実際のEDIでは例として以下のような組み合わせ（サブセット）も考えられる。

使用すべき メッセージ EDI利用範囲		申込	割付	送稿	請求						支払
					予定	請求	修正	合計	訂正	訂正承認	
申込											
割付											
送稿											
請求	予定										
	請求										
	修正										
	合計										
	訂正										
	訂正承認										
支払		*									

：必須

：任意

（* EDI申込のない明細についても支払明細情報を起こすことができます）

4 . メッセージ処理方法

4 . 1 処理の順序

(1) データ交換順序

・標準メッセージ集 1.2 版を使用する場合

申込・新規(0101)、変更(0102)、中止(0103)	広告会社	新聞社
受付確認(0104)	広告会社	新聞社
割付(0201) 未割付～割付～確定	広告会社	新聞社
送稿・予定(0301)	広告会社	新聞社
送稿・申込照合(0302)	広告会社	新聞社
送稿・送稿(0303)	広告会社	新聞社
送稿・原稿受領(0304)	広告会社	新聞社
割付(0201) 掲載	広告会社	新聞社
請求・予定(0401)	広告会社	新聞社
請求・請求(0402)、修正(0403)、合計(0404)	広告会社	新聞社

・標準メッセージ集 1.3 版を使用する場合

申込・新規(0101)、変更(0102)、中止(0103)	広告会社	新聞社
受付確認(0104)	広告会社	新聞社
割付(0201) 未割付～割付～確定	広告会社	新聞社
送稿・予定(0301)	広告会社	新聞社
送稿・申込照合(0302)	広告会社	新聞社
送稿・送稿(0303)	広告会社	新聞社
送稿・原稿受領(0304)	広告会社	新聞社
割付(0201) 掲載	広告会社	新聞社
請求・予定(0401)	広告会社	新聞社
請求・請求(0410)、修正(0411)、合計(0412)	広告会社	新聞社
請求・訂正(0501)	広告会社	新聞社
請求・訂正承認(0502)	広告会社	新聞社
支払明細(0503)、合計(0504)、通知(0505)	広告会社	新聞社

(2) データレコードの作成方法

申込・新規(0101)

- ・申込・新規情報(0101)は、1申込Noに対して1回だけ作成する。
新聞社側からの受付確認情報において、'NG'であった場合は、再度同一申込Noでの作成が可能である。

申込・変更(0102)、申込・中止(0103)

- ・申込・変更情報(0102)、申込・中止情報(0103)は、必ず申込・新規情報(0101)が存在しなければならない。
その際、「広告会社申込No」「新聞社申込No」を引き継いで作成する。
- ・申込・変更情報(0102)は、1申込Noについて複数件レコードの作成が可能である。
- ・申込・中止情報(0103)は、1申込Noに対して1回だけ作成する。
新聞社側からの受付確認情報(0104)において、'NG'であった場合は、再度同一申込Noでの作成が可能である。

受付確認(0104)

- ・受付確認情報(0104)は、受付けた申込(新規、変更、中止)の件数分レコード作成する。
- ・「広告会社申込No」+「情報区分」+「広告会社更新日時」単位に、1件の受付確認データがあることを基本原則とする。

割付情報(0201)

- ・「割付状態」が“確定”後、割付の変更は基本的に行えないこととする。
- ・「割付状態」“掲載”は、掲載実施後の実績データとして作成する。

送稿・予定(0301)

- ・申込単位に作成し、ディーラー切替などで原稿が複数種類ある場合やスポットカラーなどでインクNoを事前に知らせる必要がある場合に、広告会社から新聞社へ送信する。

送稿・申込照合(0302)

- ・申込単位に作成し、原稿締切日よりも前に新聞社から広告会社へ送る。
- ・新聞社から見て紙面掲載に必要な原稿の情報(例えば、フルカラーの掲載申込ならばフルカラー原稿とバックアップ用原稿が必要で入稿日はいつかなど)を作成する。
- ・例外的に、複数の申込(たとえば5本)がまとめて1枚の原稿になることもあるが、申込照合メッセージは申込の数だけ交換する。

-
- ・原稿の種類や掲載日によって締切日が異なるような場合は、新聞社より申込の照合メッセージを複数回送ることも可能。この時、後から送る照合メッセージには前回送信した内容も包含して、最新の状態を送ることとする。

送稿・送稿(0303)

- ・申込単位に作成し、広告会社が申込照合メッセージを受信後新聞社へ送信する。
- ・同一申込に複数の原稿がある場合、原稿を識別するための素材 No は必ず別に採番する。将来在版原稿として再利用するときも、この素材 No をキーに利用する。
- ・例外的に、複数の申込（たとえば5本）がまとまって1枚の原稿になることもあるが、送稿メッセージは申込の数だけ交換する。ただし、素材 No は共通した値になる。

送稿・原稿受領(0304)

- ・申込単位に作成し、新聞社が原稿を受領後広告会社へ送信する。
- ・例外的に、複数の申込（たとえば5本）がまとまって1枚の原稿になることもあるが、原稿受領メッセージは申込の数だけ交換する。ただし、素材 No は共通した値になる。

請求・予定(0401)

- ・請求・予定情報(0401)は1つの申込に対する料金確定後、速やかに広告会社に送信し、料金確認が行なえるようにする。

請求・請求(0402) (0410) 修正(0403) (0411) 合計(0404) (0412)

- ・請求・請求情報(0402)(0410)送信後に、請求・予定情報(0401)は発生しないこととする。
- ・請求・請求情報(0402)(0410)については、1申込 No で1レコード作成を基本とする。
(申込：請求 = 1 : 1)
- ・請求・修正情報(0403)(0411)は、請求・請求情報(0402)(0410)の送信後に訂正の必要が発生した場合に送信する請求情報として用いる。
- ・請求・合計情報(0412)は、「支払先コード」別に作成し、それに紐づく請求・請求情報(0410)の合計とする。

請求・訂正(0501)

- ・広告会社にて照合した結果不一致案件の場合、広告会社訂正案件と新聞社訂正案件への振り分けを行い、新聞社における訂正が必要な場合に新聞社より受信した請求・請求情報(0410)をもとに作成し送信する。
- ・新聞社より送られた請求・請求情報(0410)単位で、広告会社から新聞社へ赤黒(*)の情報を別々に送信する。

(*) 赤黒とは

当初請求を取り消す請求を赤請求、修正後の請求を黒請求と言う。

(例) 当初請求額 100 万円を 80 万円に修正したい場合

赤請求 - 100 万円、黒請求 + 80 万円となる。

請求・訂正承認 (0502)

- ・ 広告会社より受けた請求・訂正情報 (0501) の赤黒データそれぞれに対して別データとして同タイミングで新聞社から送信する。「請求承認区分」は発行本支社毎に赤黒データで同一のステータス (OK / NG / 保留) をセットする。

支払予定・明細 (0503) 合計 (0504) 通知 (0505)

- ・ 支払予定情報は「支払予定・明細情報 (0503) - 支払予定・合計情報 (0504) (支払内訳 : 合計) - 支払予定・通知情報 (0505) (金種・期日等)」の 3 段階で構成する。
- ・ 支払予定・明細情報 (0503) は月初の請求・請求情報 (0410) 請求・修正情報 (0411) 月中の請求・訂正承認情報 (0502) を元に作成する。
- ・ 支払予定・合計情報 (0504) と支払予定・明細情報 (0503) は「支払先コード」で紐付く。
- ・ 支払予定・通知情報は (0505) は「支払先コード」毎に支払予定・合計情報 (0504) と 1 : 1 で作成する。

(3) 受信データの処理手順

申込情報～受付確認

- ・ 広告会社側からの申込・新規、変更、中止の全てのメッセージに対して、新聞社側からの受付確認情報を必ず送信する。
その際、「広告会社申込 No」「広告会社更新日時」を必ず引き継ぐ必要がある。
- ・ タイミングによっては、同一申込 No の新規、変更、中止データが同時に送られてくる場合があるが、その場合は「広告会社更新日時」を見て、順番に受付処理を行う。
- ・ 広告会社側では、「広告会社更新日時」より判断し、どの申込データに対する受付確認情報かを確認する。

割付情報

- ・ 割付は「割付状態」で現在の割付状況を判断する。
- ・ 割付がすぐに行えない場合や、申込の変更により既に割り付けられたスペースから一旦割付を解除するような場合、「割付状態」が“未定”となる場合が発生する。
この場合、再度割付が行われた段階で“割付”や“確定”といった形で改めてデータが送信される。
- ・ 1 申込 No の割付情報が複数発生した場合、「新聞社更新日時」より判断し、どの割付が最新状態であるかを確認する。

送稿情報

- ・ 一旦送信した内容の訂正や、内容の追加が発生することもあるので、受信側は「更新日時（新聞社更新日時、広告会社更新日時）」が最新のメッセージを使用する。
- ・ 原稿が追加したような場合、追加した原稿のデータだけでなく、該当申込の全ての送稿情報を交換する。

請求情報

- ・ 1 申込 No の請求・予定情報が複数発生した場合、「新聞社更新日時」より判断し、どの請求・予定情報が最新であるかを確認する。

4.2 標準メッセージ集 1.3 版の請求メッセージと 1.2 版の請求メッセージとの関係について

標準メッセージ集 1.2 版の請求メッセージに対し項目追加等の変更が発生している。これに伴い現在の請求メッセージとは情報区分を別に採番し、現状の請求メッセージとは区別することとした。これは各社で構築された現行のシステムを新バージョンに対応したシステムへ切り替える作業は、各社のタイミングによるためバージョンの並存運用を可能にする必要があるためである。

4.3 新聞社側で発生した申込

広告会社から申込を行うことを前提とし、時間的に緊急を要するときのみ「新聞社発生申込」(申込データを送信してない取引に対する割付データの受信)として、以下の運用とする。

あらかじめ必ず担当者間での電話連絡を行う。

了承後、割り付けされ、割付情報を新聞社より送信する。

掲載後、広告会社より正式な申込を送信する。

請求データは、必ず新聞社と広告会社の申込 No が設定されるようにする。

(2.モデル情報フローの(2)緊急な申込のフローを参照)

4.4 広告主コードが変更される場合

申込・変更時に「広告会社広告主コード」が変更された場合、「新聞社広告主コード」を受付確認情報から引き継がず、空白とする可能性もあるため、新聞社側では注意する必要がある。

運用方法については、最終的に両社社間での取り決めを行う。

4.5 受付確認“NG”の利用方法

(1) 受付確認情報において、以下のような場合は“NG”として返送する。

- ・申込の掲載希望日が休刊日であるなど申込条件自体に誤りがあり、受付が不可能な場合
- ・申込・新規情報や中止情報が複数件あるような場合

(2) 受付確認情報“NG”とする場合、新聞社側では受付できない理由について、「新聞社通信欄」に明記する。

基本的には、両社、担当者間での運用ルールに則る。

(3) 広告会社側では“NG”データを確認後、申込を修正し、同じ「情報区分」で再送する。

4.6 送稿メッセージの使い方

送稿メッセージは、「予定」「申込照合」「送稿」「原稿受領」の4メッセージからなる。1本の申込メッセージに対して、これら4つのメッセージは広告会社申込No・新聞社申込Noでリンクすることが出来る。訂正などが発生した時には同じメッセージを再送するが、その時は広告会社更新日時または新聞社更新日時で再送前のメッセージと区別する。

原稿切替えや色インク情報などを事前に伝える必要がある時は、広告会社より新聞社に「予定」メッセージを送る。モノクロ同一原稿のように事前連絡が不要な場合には、「予定」メッセージを送る必要はない。

新聞社では原稿受領予定日間近になると、最終確認の意味も込めて「申込照合」メッセージを広告会社に送る。1本の申込に対し必ず1本の「申込照合」が発生することになる。発行本支社が複数にまたがる新聞社は、申込と同じ発行本支社の繰り返しパターンで「申込照合」を送る。「申込照合」には、掲載に必要な原稿の条件を伝える意味もある。色原稿のように1本の申込に対して分解原稿やバックアップ原稿など複数の原稿が必要となる場合は、原稿種類識別をキーに情報を繰り返す。「予定」を受けているため「申込照合」よりも前に複数原稿が発生することがわかっている場合には、原稿種類識別をキーに原稿の情報を繰り返すことも可能である。ただし、予定と申込照合をリンクさせるか否かは各社間の取り決めになる。

広告会社では「申込照合」を受けて、原稿内容や送稿予定日時、原稿の素材No等を「送稿」メッセージとして新聞社に返す。「予定」を送っている場合、「送稿」と「予定」は原稿種類識別をキーにリンクする。「予定」では原稿をユニークに管理するための素材Noがわからない可能性もある。そのため、新聞社側は事前に受けていた「予定」を使い作業を進め、その後、原稿種類識別をキーに素材Noを求めることになる。

原稿を受領したタイミングで新聞社は広告会社に「原稿受領」メッセージを送る。「原稿受領」は「送稿」と同じ繰り返し構成になり、1対1にリンクする。1申込で複数原稿がある場合、素材Noごとに受領未/済をセットすれば、全ての原稿を受け取る前に逐次原稿受領を送ることも出来る。どのタイミングを新聞社での受領とするかは、各社間の取り決めになる。

つまり、送稿の4メッセージのうち、「予定」、「送稿」、「原稿受領」の3メッセージは原稿種類識別を使ってメッセージ間の原稿のリンクを行う。さらに、各社間の取り決めで、「予定」がある場合に限り、「申込照合」も原稿種類識別でリンクすることが出来る。

次のページから各メッセージの構造と使用例を示す。

(1) メッセージの構造

送稿・予定メッセージの構造

*がキーとなる項目

発行本支社が1ヶ所の新聞社

発行本支社が分かれる新聞社

<p>*広告会社申込No *新聞社申込No 情報区分 *広告会社更新日時 メッセージバージョン 登録日時 広告会社企業コード 新聞社企業コード 広告主名 掲載申込・媒体 ・・・ 広告会社通信欄</p>
<p>*発行本支社 広告会社申込サブ No 掲載曜日 切替内容 ・・・ グループ</p>
<p>*原稿種別識別 素材No 掲載地区 送稿予定日 送稿予定時間 大きさ ・・・ 原稿入稿元</p>
<p>*原稿種別識別 素材No 掲載地区 送稿予定日 送稿予定時間 大きさ ・・・ 原稿入稿元</p>
<p>*原稿種別識別 素材No 掲載地区 送稿予定日 送稿予定時間 大きさ ・・・ 原稿入稿元</p>

<p>*広告会社申込No *新聞社申込No 情報区分 *広告会社更新日時 メッセージバージョン 登録日時 広告会社企業コード 新聞社企業コード 広告主名 掲載申込・媒体 ・・・ 広告会社通信欄</p>
<p>*発行本支社 広告会社申込サブ No 掲載曜日 切替内容 ・・・ グループ</p>
<p>*原稿種別識別 素材No 掲載地区 送稿予定日 送稿予定時間 大きさ ・・・ 原稿入稿元</p>
<p>*原稿種別識別 素材No 掲載地区 送稿予定日 送稿予定時間 大きさ ・・・ 原稿入稿元</p>
<p>*原稿種別識別 素材No 掲載地区 送稿予定日 送稿予定時間 大きさ ・・・ 原稿入稿元</p>

<p>*発行本支社 広告会社申込サブ No 掲載曜日 切替内容 ・・・ グループ</p>
<p>*原稿種別識別 素材No 掲載地区 送稿予定日 送稿予定時間 大きさ ・・・ 原稿入稿元</p>
<p>*原稿種別識別 素材No 掲載地区 送稿予定日 送稿予定時間 大きさ ・・・ 原稿入稿元</p>
<p>*原稿種別識別 素材No 掲載地区 送稿予定日 送稿予定時間 大きさ ・・・ 原稿入稿元</p>

送稿・申込照合メッセージの構造

*がキーとなる項目

発行本支社が1ヶ所の新聞社

発行本支社が分かれる新聞社

<p>*広告会社申込No *新聞社申込No 情報区分 *新聞社更新日時 メッセージバージョン 登録日時 広告会社企業コード 新聞社企業コード 広告主名 掲載申込・媒体 …… 新聞社通言欄</p>
<p>*発行本支社 広告会社申込No 掲載範囲 …… グレープ</p>
<p>*原稿種別識別 素材No 掲載地区 入稿締切日 入稿締切時間 大きさ …… 原稿入稿先</p>
<p>*原稿種別識別 素材No 掲載地区 入稿締切日 入稿締切時間 大きさ …… 原稿入稿先</p>
<p>*原稿種別識別 素材No 掲載地区 入稿締切日 入稿締切時間 大きさ …… 原稿入稿先</p>

<p>*広告会社申込No *新聞社申込No 情報区分 *新聞社更新日時 メッセージバージョン 登録日時 広告会社企業コード 新聞社企業コード 広告主名 掲載申込・媒体 …… 新聞社通言欄</p>
<p>*発行本支社 広告会社申込No 掲載範囲 …… グレープ</p>
<p>*原稿種別識別 素材No 掲載地区 入稿締切日 入稿締切時間 大きさ …… 原稿入稿先</p>
<p>*原稿種別識別 素材No 掲載地区 入稿締切日 入稿締切時間 大きさ …… 原稿入稿先</p>
<p>*原稿種別識別 素材No 掲載地区 入稿締切日 入稿締切時間 大きさ …… 原稿入稿先</p>

<p>*発行本支社 広告会社申込No 掲載範囲 …… グレープ</p>
<p>*原稿種別識別 素材No 掲載地区 入稿締切日 入稿締切時間 大きさ …… 原稿入稿先</p>
<p>*原稿種別識別 素材No 掲載地区 入稿締切日 入稿締切時間 大きさ …… 原稿入稿先</p>
<p>*原稿種別識別 素材No 掲載地区 入稿締切日 入稿締切時間 大きさ …… 原稿入稿先</p>

送稿・送稿メッセージの構造

*がキーとなる項目

発行本支社が1ヶ所の新聞社

発行本支社が分かれる新聞社

<p>*広告会社申込No *新聞社申込No 情報区分 *広告会社更新日時 メッセージバージョン 登録日時 広告会社企業コード 新聞社企業コード 広告主名 掲載申込・媒体 ・・・ 広告会社通信欄</p>
<p>*発行本支社 広告会社申込No 掲載範囲 切替内容 ・・・ グループ</p>
<p>*原稿識別 素材No 掲載地区 送稿予定日 送稿予定時間 大きさ ・・・ 原稿入稿元</p>
<p>*原稿識別 素材No 掲載地区 送稿予定日 送稿予定時間 大きさ ・・・ 原稿入稿元</p>
<p>*原稿識別 素材No 掲載地区 送稿予定日 送稿予定時間 大きさ ・・・ 原稿入稿元</p>

<p>*広告会社申込No *新聞社申込No 情報区分 *広告会社更新日時 メッセージバージョン 登録日時 広告会社企業コード 新聞社企業コード 広告主名 掲載申込・媒体 ・・・ 広告会社通信欄</p>
<p>*発行本支社 広告会社申込No 掲載範囲 切替内容 ・・・ グループ</p>
<p>*原稿識別 素材No 掲載地区 送稿予定日 送稿予定時間 大きさ ・・・ 原稿入稿元</p>
<p>*原稿識別 素材No 掲載地区 送稿予定日 送稿予定時間 大きさ ・・・ 原稿入稿元</p>
<p>*原稿識別 素材No 掲載地区 送稿予定日 送稿予定時間 大きさ ・・・ 原稿入稿元</p>

<p>*発行本支社 広告会社申込No 掲載範囲 切替内容 ・・・ グループ</p>
<p>*原稿識別 素材No 掲載地区 送稿予定日 送稿予定時間 大きさ ・・・ 原稿入稿元</p>
<p>*原稿識別 素材No 掲載地区 送稿予定日 送稿予定時間 大きさ ・・・ 原稿入稿元</p>
<p>*原稿識別 素材No 掲載地区 送稿予定日 送稿予定時間 大きさ ・・・ 原稿入稿元</p>

送稿・原稿受領メッセージの構造
発行本支社が1ヶ所の新聞社

*がキーとなる項目
発行本支社が分かれる新聞社

<p>*広告会社申込No *新聞社申込No 情報区分 *新聞社更新日時 メッセージバージョン 登録日時 広告会社企業コード 新聞社企業コード 広告主名 掲載申込・媒体 新聞社通信欄</p>
<p>*発行本支社 広告会社申込No 掲載曜日 グループ</p>
<p>*原稿管理識別 素材No 掲載地区 原稿名 受領未/済</p>
<p>*原稿管理識別 素材No 掲載地区 原稿名 受領未/済</p>
<p>*原稿管理識別 素材No 掲載地区 原稿名 受領未/済</p>

<p>*広告会社申込No *新聞社申込No 情報区分 *新聞社更新日時 メッセージバージョン 登録日時 広告会社企業コード 新聞社企業コード 広告主名 掲載申込・媒体 新聞社通信欄</p>
<p>*発行本支社 広告会社申込No 掲載曜日 グループ</p>
<p>*原稿管理識別 素材No 掲載地区 原稿名 受領未/済</p>
<p>*原稿管理識別 素材No 掲載地区 原稿名 受領未/済</p>
<p>*原稿管理識別 素材No 掲載地区 原稿名 受領未/済</p>

<p>*発行本支社 広告会社申込No 掲載曜日 グループ</p>
<p>*原稿管理識別 素材No 掲載地区 原稿名 受領未/済</p>
<p>*原稿管理識別 素材No 掲載地区 原稿名 受領未/済</p>
<p>*原稿管理識別 素材No 掲載地区 原稿名 受領未/済</p>

(2) 使用例 (標準メッセージの作成イメージ)

(例 1) 発行本支社が一ヶ所で、原稿も 1 種類の場合

送稿・予定

なし

送稿・申込照合

申込 No	本支社	原稿識別	素材 No	入稿締切日	入稿先
A001	東京	01		11月10日	東京

送稿・送稿

申込 No	本支社	原稿識別	素材 No	掲載地区	新/在	送稿予定日	入稿先	在版情報	未送稿
A001	東京	01	0001		新	11月10日	東京		

送稿・原稿受領

申込 No	本支社	原稿識別	素材 No	受領未/済
A001	東京	01	0001	済

(作成のポイント)

- ・「予定」は特に不要。

(例 2) 発行本支社が 1 ヶ所で在版の場合

送稿・予定

なし

送稿・申込照合

申込 No	本支社	原稿識別	素材 No	入稿締切日	入稿先
B001	東京	01		11月10日	

送稿・送稿

申込 No	本支社	原稿識別	素材 No	掲載地区	新/在	送稿予定日	入稿先	在版情報	未送稿
B001	東京	01	0001		在			朝/本紙/ 11月1日	1

送稿・原稿受領

申込 No	本支社	原稿識別	素材 No	受領未/済
B001	東京	01	0001	済

(作成のポイント)

- ・「予定」は特に不要。
- ・「送稿」で“未送稿区分”に“1”(送稿しない)をセット。

(例3) 全国掲載で同一原稿の場合

送稿・予定

なし

送稿・申込照合

申込 No	本支社	原稿識別	素材 No	入稿締切日	入稿先
C001	東京	01		11月10日	東京
	大阪	01		11月10日	東京
	名古屋	01		11月10日	東京
	西部	01		11月9日	東京
	北海道	01		11月9日	東京

送稿・送稿

申込 No	本支社	原稿識別	素材 No	掲載地区	新/在	送稿予定日	入稿先	在版情報	未送稿
C001	東京	01	0001		新	11月10日	東京		
	大阪	01	0001		新	11月10日	東京		
	名古屋	01	0001		新	11月10日	東京		
	西部	01	0001		新	11月9日	東京		
	北海道	01	0001		新	11月9日	東京		

送稿・原稿受領

申込 No	本支社	原稿識別	素材 No	受領未/済
C001	東京	01	0001	済
	大阪	01	0001	済
	名古屋	01	0001	済
	西部	01	0001	済
	北海道	01	0001	済

(作成のポイント)

- ・「予定」は特に不要。
- ・全国同一原稿なので、同一素材 No を採番。

(例4) 全国掲載でかつ、切替がある場合

送稿・予定

申込 No	本支社	原稿識別	素材 No	掲載地区	新/在	送稿予定日	入稿先	在版情報	未送稿
D001	東京	01	0001	東京都	新		東京		
		02	0002	埼玉県	新		東京		
		03	0003	千葉県	新		東京		
		04	0004	その他	新		東京		
	大阪	01					東京		
	名古屋	01					東京		
	西部	01					東京		
	北海道	01					東京		

送稿・申込照合

申込 No	本支社	原稿識別	素材 No	入稿締切日	入稿先
D001	東京	01		11月10日	
	大阪	01		11月10日	
	名古屋	01		11月10日	
	西部	01		11月9日	
	北海道	01		11月9日	

送稿・送稿

申込 No	本支社	原稿識別	素材 No	掲載地区	新/在	送稿予定日	入稿先	在版情報	未送稿
D001	東京	01	0001	東京都	新	11月10日	東京		
		02	0002	埼玉県	新	11月10日	東京		
		03	0003	千葉県	新	11月10日	東京		
		04	0004	その他	新	11月10日	東京		
	大阪	01	0005		新	11月10日	東京		
	名古屋	01	0005		新	11月10日	東京		
	西部	01	0005		新	11月9日	東京		
	北海道	01	0005		新	11月9日	東京		

送稿・原稿受領

申込 No	本支社	原稿識別	素材 No	受領未 / 済
D001	東京	01	0001	済
		02	0002	済
		03	0003	済
		04	0004	済
	大阪	01	0005	済
	名古屋	01	0005	済
	西部	01	0005	済
	北海道	01	0005	済

(作成のポイント)

- ・切替が有るので、「予定」を使用。
- ・「予定」では“素材 No”、“送稿予定日”等に一部未確定箇所有り。

(例5) カラー掲載で、バックアップ用のモノクロフィルムが必要な場合

送稿・予定
なし

送稿・申込照合

申込 No	本支社	原稿識別	素材 No	原稿名	入稿締切日	入稿先
E001	東京	01		カラー原稿	11月10日	
		02		バックアップ用	11月15日	

送稿・送稿

申込 No	本支社	原稿識別	素材 No	掲載地区	新/在	原稿名	送稿予定日	入稿先
E001	東京	01	0001		新	カラー原稿	11月10日	
		02	0002		新	バックアップ	11月15日	

在版情報	未送稿

送稿・原稿受領

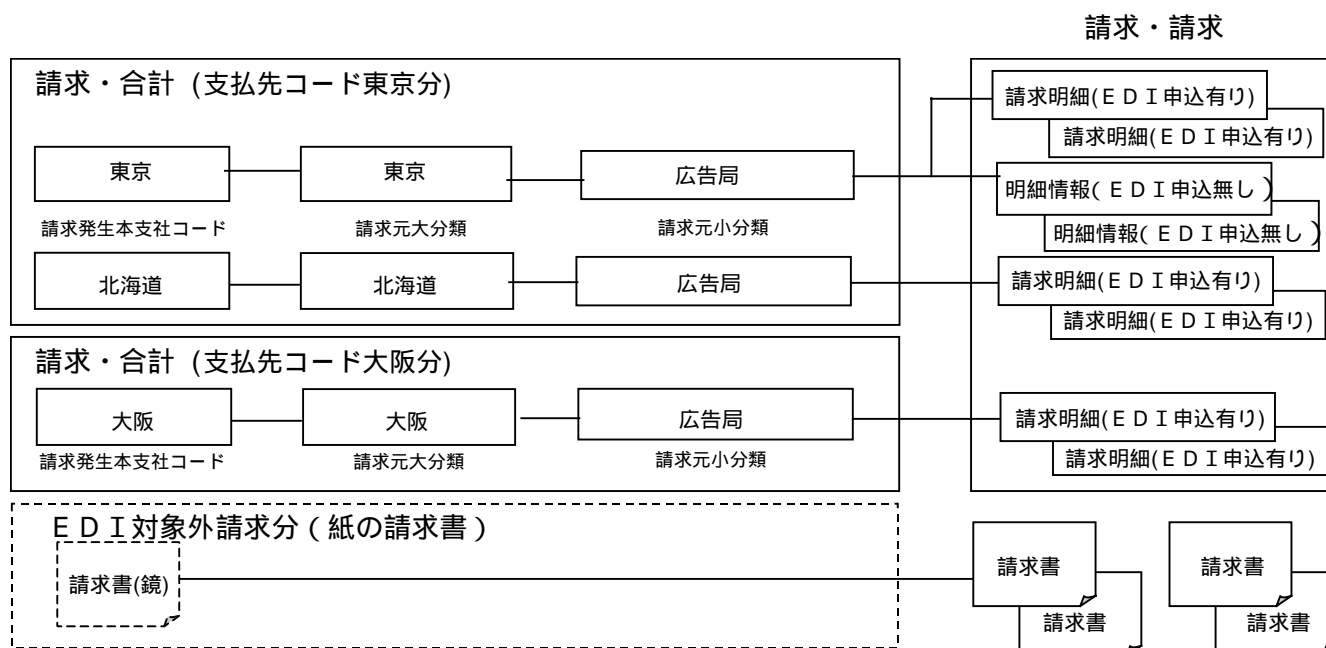
申込 No	本支社	原稿識別	素材 No	受領未 / 済
E001	東京	01	0001	済
		02	0002	未

(作成のポイント)

- ・「予定」は特に不要。
- ・「申込照合」でバックアップ用原稿が必要な旨を連絡。

4.7 請求、支払メッセージ(標準メッセージ Ver1.3)の使い方

請求情報イメージは以下の図の通り。



・請求メッセージについて

月初の段階で請求・合計情報(0412)と請求・請求情報(0410)を広告会社へ送信する。

請求・合計情報(0412)は、「請求発生本支社コード」「請求元大分類」「請求元小分類」をキーに集計される。「請求元大分類」と「請求元小分類」の単位は、各社間の取り決めで任意に設定する。

EDI受注部署の請求については全ての請求明細を送信する。明細として送信できない請求データがある場合はその合計額をひとつの明細として作成し送信できる。またその場合は新聞社で「新聞社申込 No」を必ずセットする。

EDI対象外の請求については、紙の請求書を広告会社へ送付する。紙のみでの請求の場合は受注部署を請求書に明示する。

なお原則月中での追加請求は行わないこととする。

・請求・訂正情報の送信について

広告会社にて受信した請求・合計情報(0412)と紙の請求書の合計をもとに請求情報に不備がないことを確認して、照合作業を行う。広告会社は不一致案件について電話等で内容確認を行い、広告会社訂正案件と新聞社訂正案件への振り分けを行う。新聞社における訂正が必要と思われる案件については、「新聞社申込 No」および「広告会社申込 No」を必ず引き継いでセットし、請求・訂正情

報(0501)を送信する。なお、発行本支社単位で訂正フラグをセットする。「広告会社申込 No」がブランクであった場合は、広告会社にて「広告会社申込 No」を新規に入力する。

請求・訂正情報(0501)は新聞社より受信した請求情報を元に赤黒を対にして作成する(差額分のみ訂正情報は作成しない)。訂正は金額に限らず、日付・広告種別等詳細内容についても可能である。訂正の必要がない掲載本支社に関しては請求・請求情報(0410)、訂正があった場合には、新聞社からOKでもらっている最新の請求・訂正承認情報(0502)のデータを元に赤黒データを作成しセットする。

また請求・訂正承認情報(0502)が返ってきていない発行本支社についての連続訂正は不可とする。異なる発行本支社に訂正をいれる場合には、未承認の発行本支社訂正が存在していても連続送信を可能とする。

合計額がセットされている請求・請求情報(0410)へ訂正が入る場合には、広告会社にて紙の請求書に基づき明細単位での請求・訂正情報(0501)を作成し、送信する。月初の請求段階でEDI対象外の案件については請求書による訂正のやり取りを行い、当フローの対象とはしない。

・請求・訂正承認情報の送信

広告会社より請求・訂正情報を受信した新聞社は、社内において調査を行い、調査の結果に応じて請求・訂正情報(0501)の単位で請求・訂正承認情報(0502)を広告会社へ送信する。「請求承認区分」は発行本支社毎に赤黒同一のステータス(OK/NG/保留)をセットする。また、原則として請求・訂正承認情報(0502)とそれに対応する赤黒請求データ(請求・修正情報)と紙の請求書は、同タイミングで送信・送付する。但し、システム等の都合により直ちに赤黒請求を行えない場合は、請求・訂正承認(0502)のみを返信し、翌月初に「広告会社申込 No」をセットした請求・請求情報(0410)又は請求・修正情報(0411)及び請求書を広告会社へ送信・送付する。「保留」の場合は赤請求データとブランクの黒請求データと紙の請求書を送信・送付する。請求・訂正承認情報に対する赤黒請求データには「広告会社申込 No」を引き継ぐ

なお各社間の取り決めにより一定の期日を設け、全ての請求・訂正情報(0501)に対する請求・訂正承認情報(0502)を送信することとし、ステータスが決まらないデータがある場合には、「保留」のステータスで返信する。

各種、請求・訂正承認情報(0502)の扱いは以下の通りとする。

「OK」: 請求・訂正情報(0501)における訂正内容に誤りがない場合は当ステータスで返信する。承認された請求・訂正承認情報(0502)は、支払予定明細情報(0503)に加算する。

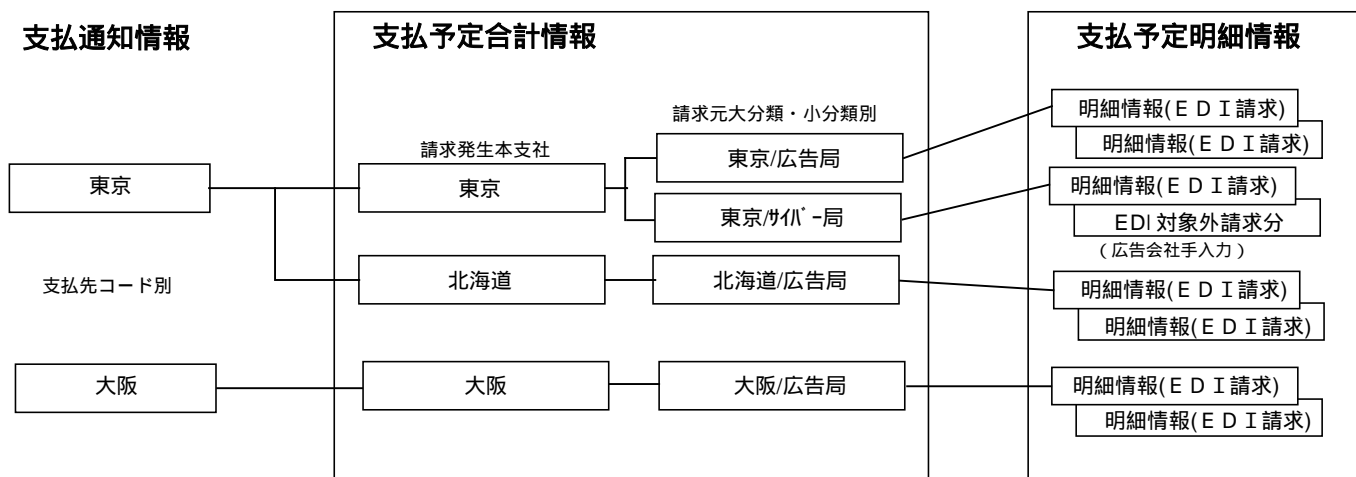
「NG」: 調査の結果が請求・訂正情報(0501)における訂正内容にそぐわない場合は当ステータ

スで返信する。非承認された請求・訂正承認情報(0502)は、支払予定明細情報(0503)に加算せず、再度広告会社にて調査を行う。

「保留」: 当月内に調整が見つからない案件については当ステータスで返信する。当ステータスを使用する場合、当月内には広告会社からの支払が発生しない(一部支払は原則行わない)。当月支払を保留するための証憑として赤請求データとブランクの黒請求データを保留の承認メッセージと共に返信する。保留された請求・訂正承認情報(0502)のうち、赤黒請求区分が「赤」のもののみ、支払予定明細情報(0503)に加算する。保留の当月解除は原則行わない。解除を行う場合には、赤請求・訂正データの請求金額にはゼロをセットする。

・支払予定情報の送信

支払予定情報イメージは以下の図の通り。



支払予定情報は「支払予定明細情報 支払予定合計情報（支払内訳：合計） 支払通知情報（金種・期日等）」の3段階で構成する。広告会社にて月初の請求・請求情報(0410)、請求・修正情報(0411)、月中の請求・訂正承認情報(0502)より支払予定明細情報(0503)を作成する。支払予定明細(0503)に加算する請求・訂正承認情報(0502)におけるステータスの扱いは以下の通り。

「OK」: 支払予定明細(0503)に赤黒両方の請求・訂正承認情報に発行本支社以下のマルチ項目をセットする

「NG」: 支払予定明細(0503)に赤黒両方の請求・訂正承認情報に発行本支社以下のマルチ項目をblankとする

「保留」: 支払予定明細(0503)に赤のみの請求・訂正承認情報に発行本支社以下のマルチ項目をセットし、黒はblankとする

全ての発行本支社以下のマルチ項目がblankとなる場合には支払予定明細を送信しない。

月初請求情報に含まれないEDI対象外の案件については、広告会社にて支払予定明細情報(0503)を手入力で作成し、「広告会社入力区分」をセットする。なお、この場合「新聞社請求No」には請求書に記載されている請求Noを入力する。請求書に記載されている請求Noについては各社取り決めに基づき運用する。原則明細単位で支払予定明細情報(0503)を作成するが、事前の取り決めにより合計額をもってひとつの明細として登録することもある。

相殺及びその他の増減要因については各社間の取り決めに基づき支払通知情報(0505) / 支払予定合計情報(0504)のいずれの単位でも登録可能とする。

・その他

消費税について

請求メッセージ及び支払メッセージにおいて、各社の事情により消費税は明細単位でも合計単位でもセットすることができる。明細単位で消費税を持つ場合、合計情報には明細の消費税合計をセットし、合計単位で消費税を持つ場合は明細の消費税はblankにする。

金種区分による支払通知情報の必須項目は以下の表通りとする。

項目番号については標準メッセージ集を参照。

項目番号	データ項目						
40147	金種区分	現金	振込	小切手	手形	満期日振込	信託()
40148	支払金額						
40149	支払予定日						
40150	銀行コード			×	×		
40151	銀行支店コード			×	×		
40152	口座種別			×	×		
40153	口座番号			×	×		
40154	口座名			×	×		
40155	満期日	×	×	×			

ファクタリングによる支払を含む

(1) メッセージの構造

*がキーとなる項目

請求・合計メッセージの構造

請求・請求メッセージの構造

***情報区分**
 メッセージバージョン
 登録日時
 新聞社更新日時
 広告会社企業コード
 新聞社企業コード
 新聞社通信欄
 フリー項目
***支払先コード**
 請求合計No

***請求元生本支社コード**
 請求元大分類
 請求元小分類
 合計・売上金額
 合計・請求金額
 初期請求金額
 初期消費税額
 消費税計算区分
 請求備考

***請求元生本支社コード**
 請求元大分類
 請求元小分類
 合計・売上金額
 合計・請求金額
 初期請求金額
 初期消費税額
 消費税計算区分
 請求備考

***情報区分コード**
***広告会社申込No**
***新聞社申込No**
 メッセージバージョン
 新聞社更新日時
 広告会社企業コード
 新聞社企業コード
 広告会社発培層コード
 広告会社発培層
 新聞社受培層コード
 新聞社受培層
 新聞社通信欄
***請求元生本支社コード**
***支払先コード**
 請求No
 請求元大分類
 請求元小分類
 広告会社広告主コード
 広告会社広告主カナ名
 広告会社広告主漢字名
 新聞社広告主コード
 新聞社広告主カナ名
 新聞社広告主漢字名
 広告種別
 ...

***発行本支社**
 広告会社申込No
 掲載範囲
 切替回数
 ...
 消費税計算区分
 請求備考

***付加料金・付加料金コード**
 付加料金・付加料金名
 付加料金・売上金額
 ...

***付加料金・付加料金コード**
 付加料金・付加料金名
 付加料金・売上金額
 ...

***発行本支社**
 広告会社申込No
 掲載範囲
 切替回数
 ...
 消費税計算区分
 請求備考

***付加料金・付加料金コード**
 付加料金・付加料金名
 付加料金・売上金額
 ...

***付加料金・付加料金コード**
 付加料金・付加料金名
 付加料金・売上金額
 ...

***付加料金・付加料金コード**
 付加料金・付加料金名
 付加料金・売上金額
 ...

*がキーとなる項目

請求・修正メッセージの構造

請求・訂正メッセージの構造

***情報区分コード**
***広告会社申込No**
***新聞社申込No**
 メッセージバージョン
 新聞社更新日時
 広告会社企業コード
 新聞社企業コード
 広告会社発培層コード
 広告会社発培層
 新聞社受培層コード
 新聞社受培層
 新聞社通言欄
***請求発生本支社コード**
***支払先コード**
 請求No
 請求元大分類
 請求元小分類
 広告会社広告主コード
 広告会社広告主カナ名
 広告会社広告主漢字名
 新聞社広告主コード
 新聞社広告主カナ名
 新聞社広告主漢字名
 広告種別
 ...

***発行本支社**
 広告会社申込No
 掲載範囲
 切替回数
 ...
 消費精算区分
 請求備考

***付加料金・付加料金コード**
 付加料金・付加料金名
 付加料金・売上金額
 ...

***付加料金・付加料金コード**
 付加料金・付加料金名
 付加料金・売上金額
 ...

***付加料金・付加料金コード**
 付加料金・付加料金名
 付加料金・売上金額
 ...

***発行本支社**
 広告会社申込No
 掲載範囲
 切替回数
 ...
 消費精算区分
 請求備考

***付加料金・付加料金コード**
 付加料金・付加料金名
 付加料金・売上金額
 ...

***付加料金・付加料金コード**
 付加料金・付加料金名
 付加料金・売上金額
 ...

***付加料金・付加料金コード**
 付加料金・付加料金名
 付加料金・売上金額
 ...

***情報区分コード**
***広告会社申込No**
***新聞社申込No**
 メッセージバージョン
 広告会社更新日時
 広告会社企業コード
 新聞社企業コード
 広告会社発培層コード
 広告会社発培層
 新聞社受培層コード
 新聞社受培層
 新聞社通言欄
***請求発生本支社コード**
***支払先コード**
 請求No
 請求元大分類
 請求元小分類
 広告会社広告主コード
 広告会社広告主カナ名
 広告会社広告主漢字名
 新聞社広告主コード
 新聞社広告主カナ名
 新聞社広告主漢字名
 広告種別
 ...
 赤黒請求区分
 消費精算区分

***発行本支社**
 広告会社申込No
 掲載範囲
 切替回数
 ...
 請求備考

***付加料金・付加料金コード**
 付加料金・付加料金名
 付加料金・売上金額
 ...

***付加料金・付加料金コード**
 付加料金・付加料金名
 付加料金・売上金額
 ...

***付加料金・付加料金コード**
 付加料金・付加料金名
 付加料金・売上金額
 ...

***発行本支社**
 広告会社申込No
 掲載範囲
 切替回数
 ...
 請求備考

***付加料金・付加料金コード**
 付加料金・付加料金名
 付加料金・売上金額
 ...

***付加料金・付加料金コード**
 付加料金・付加料金名
 付加料金・売上金額
 ...

***付加料金・付加料金コード**
 付加料金・付加料金名
 付加料金・売上金額
 ...

*がキーとなる項目

請求・訂正承認メッセージの構造

支払予定・明細メッセージの構造

***情報区分コード**
***広告会社申込No**
***新聞社申込No**
 メッセージバージョン
 新聞社更新日時
 広告会社企業コード
 新聞社企業コード
 広告会社発着階コード
 広告会社発着階
 新聞社受着階コード
 新聞社受着階
 新聞社通信欄
***請求元本社コード**
***支払先コード**
 請求No
 請求元大分類
 請求元小分類
 広告会社広告主コード
 広告会社広告主カナ名
 広告会社広告主漢字名
 新聞社広告主コード
 新聞社広告主カナ名
 新聞社広告主漢字名
 広告種別
 . . .
 赤黒請求区分
 消費税計算区分
 請求備考

***発行本支社**
 広告会社申込No
 掲載範囲
 切替回数
 . . .
 請求承認区分

***付加料金・付加料金コード**
 付加料金・付加料金名
 付加料金・売上金額
 . . .

***発行本支社**
 広告会社申込No
 掲載範囲
 切替回数
 . . .
 請求承認区分

***付加料金・付加料金コード**
 付加料金・付加料金名
 付加料金・売上金額
 . . .

***付加料金・付加料金コード**
 付加料金・付加料金名
 付加料金・売上金額
 . . .

***発行本支社**
 広告会社申込No
 掲載範囲
 切替回数
 . . .
 請求承認区分

***付加料金・付加料金コード**
 付加料金・付加料金名
 付加料金・売上金額
 . . .

***付加料金・付加料金コード**
 付加料金・付加料金名
 付加料金・売上金額
 . . .

***付加料金・付加料金コード**
 付加料金・付加料金名
 付加料金・売上金額
 . . .

***情報区分コード**
***広告会社申込No**
***新聞社申込No**
 メッセージバージョン
 広告会社更新日時
 広告会社企業コード
 新聞社企業コード
 広告会社発着階コード
 広告会社発着階
 新聞社受着階コード
 新聞社受着階
 新聞社通信欄
 広告会社通信欄
 請求元大分類
***支払通知No**
***支払先コード**
***請求元本社コード**
 請求元大分類
 請求元小分類
 請求No
 広告会社広告主コード
 広告会社広告主カナ名
 広告会社広告主漢字名
 新聞社広告主コード
 新聞社広告主カナ名
 新聞社広告主漢字名
 広告種別
 . . .
 広告会社入力区分
 消費税計算区分
 請求備考

***発行本支社**
 広告会社申込No
 掲載範囲
 切替回数
 . . .

***付加料金・付加料金コード**
 付加料金・付加料金名
 付加料金・売上金額
 . . .

***発行本支社**
 広告会社申込No
 掲載範囲
 切替回数
 . . .

***付加料金・付加料金コード**
 付加料金・付加料金名
 付加料金・売上金額
 . . .

***付加料金・付加料金コード**
 付加料金・付加料金名
 付加料金・売上金額
 . . .

***発行本支社**
 広告会社申込No
 掲載範囲
 切替回数
 . . .

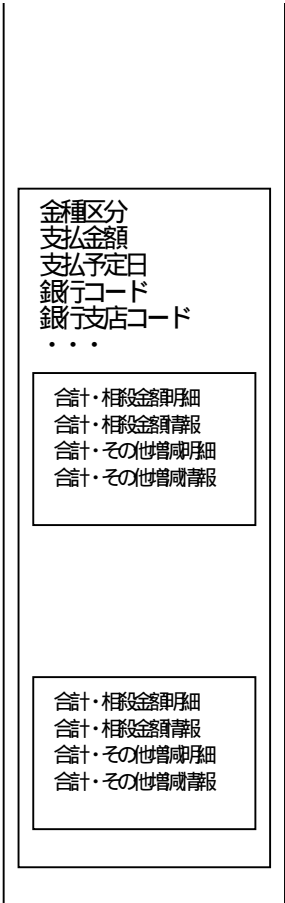
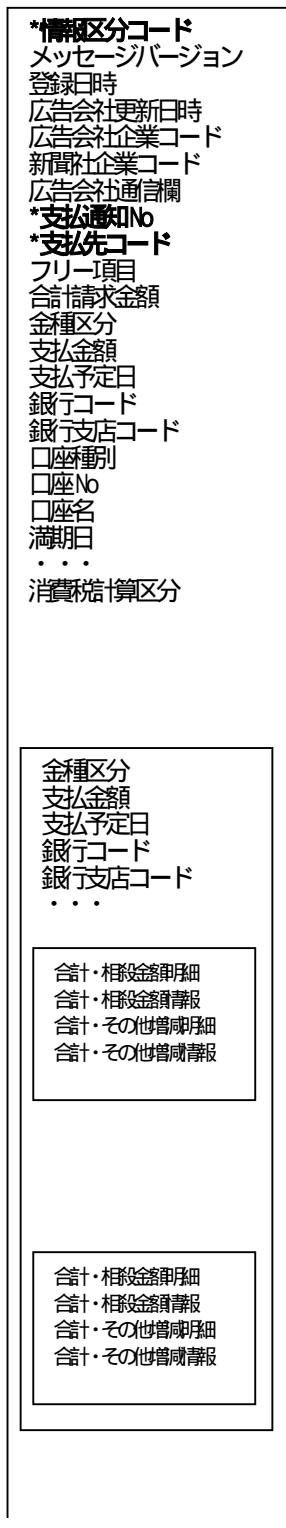
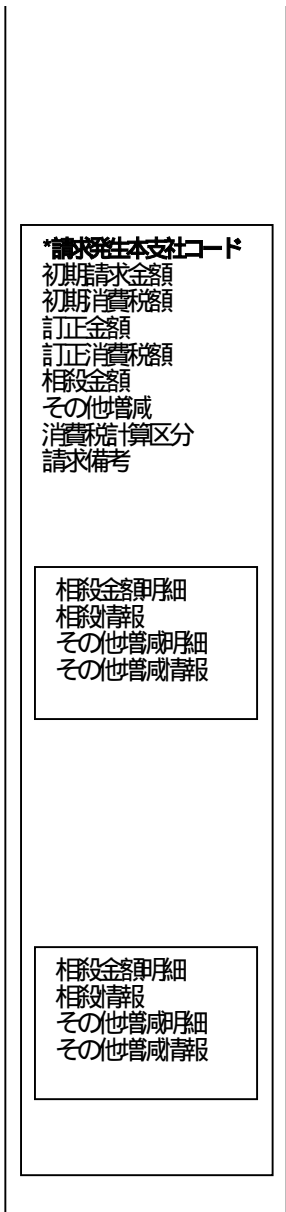
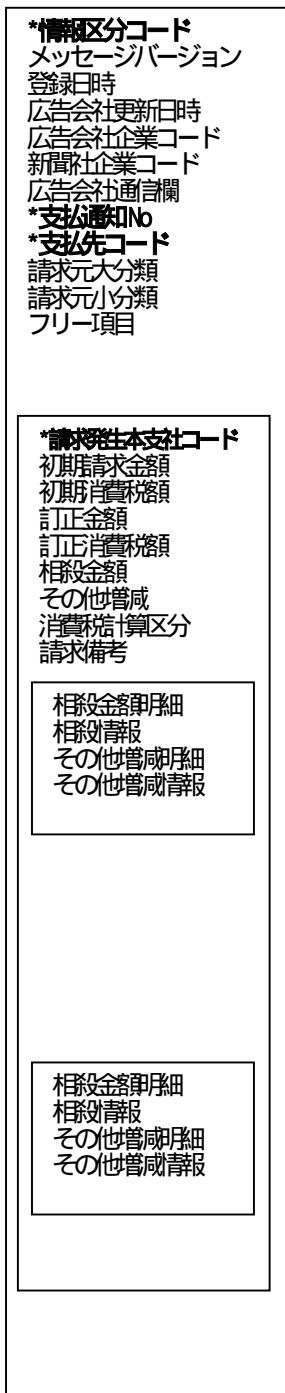
***付加料金・付加料金コード**
 付加料金・付加料金名
 付加料金・売上金額
 . . .

***付加料金・付加料金コード**
 付加料金・付加料金名
 付加料金・売上金額
 . . .

***付加料金・付加料金コード**
 付加料金・付加料金名
 付加料金・売上金額
 . . .

支払予定・合計メッセージの構造

支払通知メッセージの構造



(2) 使用例 (標準メッセージの作成イメージ)

1. 請求～支払メッセージ使用例 (照合一致)

請求・請求情報 (0410)

請求No	新聞社 申込No	請求大分類	請求小分類	広告会社 申込No	請求金額	消費税額	発行 本支社	売上 本支社	掲載 年月日	スヘ-ス	面	合計 請求金額
	S11111	001(東京)	001(広告局)	11111111	500,000	25,000	東京	東京	10/1	5D	スポーツ面	300,000
							大阪	東京	10/1	5D	スポーツ面	100,000
							名古屋	東京	10/1	5D	スポーツ面	100,000

請求書
×新聞社 東京
事業局 請求金額 100,000

支払予定・明細情報 (0503)

支払No	新聞社 申込No	請求大分類	請求小分類	広告会社 申込No	請求金額	消費税額	発行 本支社	売上 本支社	掲載 年月日	スヘ-ス	面	合計 請求金額	広告会社 入力区分
	S11111	001(東京)	001(広告局)	11111111	500,000	25,000	東京	東京	10/1	5D	スポーツ面	300,000	x
							大阪	東京	10/1	5D	スポーツ面	100,000	
							名古屋	東京	10/1	5D	スポーツ面	100,000	

支払No	新聞社 申込No	請求大分類	請求小分類	広告会社 申込No	請求金額	消費税額	広告会社 入力区分
		001(東京)	002(事業局)		100,000	5,000	

2. 請求～支払メッセージ使用例 (照合不一致・全額カット)

請求・請求情報 (0410)													
請求No	新聞社 申込No	請求大分類	請求小分類	広告会社 申込No	請求金額	消費税額	発行 本支社	売上 本支社	掲載 年月日	ｽﾊﾞｰｽ	面	合計 請求金額	
	S11111	001(東京)	001(広告局)	11111111	500,000	25,000	東京	東京	10/1	5D	ｽﾎﾞ面	300,000	
							大阪	東京	10/1	5D	ｽﾎﾞ面	100,000	
							名古屋	東京	10/1	5D	ｽﾎﾞ面	100,000	

請求・訂正情報 (0501)															
請求No	新聞社 申込No	請求大分類	請求小分類	広告会社 申込No	請求金額	消費税額	発行 本支社	売上 本支社	掲載 年月日	ｽﾊﾞｰｽ	面	合計 請求金額	訂正フラグ	請求承認	赤黒 請求区分
	S11111	001(東京)	001(広告局)	11111111	500,000	25,000	東京	東京	10/1	5D	ｽﾎﾞ面	300,000			赤
							大阪	東京	10/1	5D	ｽﾎﾞ面	100,000			
							名古屋	東京	10/1	5D	ｽﾎﾞ面	100,000			
	S11111	001(東京)	001(広告局)	11111111	0	0	東京	東京	10/1	5D	ｽﾎﾞ面	0			黒
							大阪	東京	10/1	5D	ｽﾎﾞ面	0			
							名古屋	東京	10/1	5D	ｽﾎﾞ面	0			

請求・訂正承認情報 (0502)															
請求No	新聞社 申込No	請求大分類	請求小分類	広告会社 申込No	請求金額	消費税額	発行 本支社	売上 本支社	掲載 年月日	ｽﾊﾞｰｽ	面	合計 請求金額	訂正フラグ	請求承認	赤黒 請求区分
	S11111	001(東京)	001(広告局)	11111111	500,000	25,000	東京	東京	10/1	5D	ｽﾎﾞ面	300,000		OK	赤
							大阪	東京	10/1	5D	ｽﾎﾞ面	100,000		OK	
							名古屋	東京	10/1	5D	ｽﾎﾞ面	100,000		OK	
	S11111	001(東京)	001(広告局)	11111111	0	0	東京	東京	10/1	5D	ｽﾎﾞ面	0		OK	黒
							大阪	東京	10/1	5D	ｽﾎﾞ面	0		OK	
							名古屋	東京	10/1	5D	ｽﾎﾞ面	0		OK	

請求・修正情報 (0411)													
請求No	新聞社 申込No	請求大分類	請求小分類	広告会社 申込No	請求金額	消費税額	発行 本支社	売上 本支社	掲載 年月日	ｽﾊﾞｰｽ	面	合計 請求金額	
	S11111	001(東京)	001(広告局)	11111111	500,000	25,000	東京	東京	10/1	5D	ｽﾎﾞ面	300,000	
							大阪	東京	10/1	5D	ｽﾎﾞ面	100,000	
							名古屋	東京	10/1	5D	ｽﾎﾞ面	100,000	
	S11111	001(東京)	001(広告局)	11111111	0	0	東京	東京	10/1	5D	ｽﾎﾞ面	0	
							大阪	東京	10/1	5D	ｽﾎﾞ面	0	
							名古屋	東京	10/1	5D	ｽﾎﾞ面	0	

支払予定・明細情報 (0503)														
支払No	新聞社 申込No	請求大分類	請求小分類	広告会社 申込No	請求金額	消費税額	発行 本支社	売上 本支社	掲載 年月日	ｽﾊﾞｰｽ	面	合計 請求金額	広告会社 入力区分	
	S11111	001(東京)	001(広告局)	11111111	500,000	25,000	東京	東京	10/1	5D	ｽﾎﾞ面	300,000	x	
							大阪	東京	10/1	5D	ｽﾎﾞ面	100,000		
							名古屋	東京	10/1	5D	ｽﾎﾞ面	100,000		
	S11111	001(東京)	001(広告局)	11111111	500,000	25,000	東京	東京	10/1	5D	ｽﾎﾞ面	300,000	x	
							大阪	東京	10/1	5D	ｽﾎﾞ面	100,000		
							名古屋	東京	10/1	5D	ｽﾎﾞ面	100,000		
	S11111	001(東京)	001(広告局)	11111111	0	0	東京	東京	10/1	5D	ｽﾎﾞ面	0	x	
							大阪	東京	10/1	5D	ｽﾎﾞ面	0		
							名古屋	東京	10/1	5D	ｽﾎﾞ面	0		

3. 請求～支払メッセージ使用例（照合不一致・発行本支社別金額変更）

請求・請求情報 (0410)												
請求No	新聞社 申込No	請求大分類	請求小分類	広告会社 申込No	請求金額	消費税額	発行 本支社	売上 本支社	掲載 年月日	ｽﾊﾞｰｽ	面	合計 請求金額
	S11111	001(東京)	001(広告局)	11111111	500,000	25,000	東京	東京	10/1	5D	ｽﾌﾞ面	300,000
							大阪	東京	10/1	5D	ｽﾌﾞ面	100,000
							名古屋	東京	10/1	5D	ｽﾌﾞ面	100,000

請求・訂正情報 (0501)															
請求No	新聞社 申込No	請求大分類	請求小分類	広告会社 申込No	請求金額	消費税額	発行 本支社	売上 本支社	掲載 年月日	ｽﾊﾞｰｽ	面	合計 請求金額	訂正ﾌﾗｸ	請求 承認	赤黒 請求区分
	S11111	001(東京)	001(広告局)	11111111	500,000	25,000	東京	東京	10/1	5D	ｽﾌﾞ面	300,000	x		赤
							大阪	東京	10/1	5D	ｽﾌﾞ面	100,000			
							名古屋	東京	10/1	5D	ｽﾌﾞ面	100,000	x		
	S11111	001(東京)	001(広告局)	11111111	600,000	30,000	東京	東京	10/1	5D	ｽﾌﾞ面	300,000	x		黒
							大阪	東京	10/1	5D	ｽﾌﾞ面	200,000			
							名古屋	東京	10/1	5D	ｽﾌﾞ面	100,000	x		

請求・訂正承認情報 (0502)															
請求No	新聞社 申込No	請求大分類	請求小分類	広告会社 申込No	請求金額	消費税額	発行 本支社	売上 本支社	掲載 年月日	ｽﾊﾞｰｽ	面	合計 請求金額	訂正ﾌﾗｸ	請求 承認	赤黒 請求区分
	S11111	001(東京)	001(広告局)	11111111	500,000	25,000	東京	東京	10/1	5D	ｽﾌﾞ面	300,000	x		赤
							大阪	東京	10/1	5D	ｽﾌﾞ面	100,000		OK	
							名古屋	東京	10/1	5D	ｽﾌﾞ面	100,000	x		
	S11111	001(東京)	001(広告局)	11111111	600,000	30,000	東京	東京	10/1	5D	ｽﾌﾞ面	300,000	x		黒
							大阪	東京	10/1	5D	ｽﾌﾞ面	200,000		OK	
							名古屋	東京	10/1	5D	ｽﾌﾞ面	100,000	x		

請求・修正情報 (0411)												
請求No	新聞社 申込No	請求大分類	請求小分類	広告会社 申込No	請求金額	消費税額	発行 本支社	売上 本支社	掲載 年月日	ｽﾊﾞｰｽ	面	合計 請求金額
	S11111	001(東京)	001(広告局)	11111111	100,000	5,000	東京	東京				100,000
							大阪	東京	10/1	5D	ｽﾌﾞ面	100,000
							名古屋	東京				
	S11111	001(東京)	001(広告局)	11111111	200,000	10,000	東京	東京				
							大阪	東京	10/1	5D	ｽﾌﾞ面	200,000
							名古屋	東京				

支払予定・明細情報 (0503)													
支払No	新聞社 申込No	請求大分類	請求小分類	広告会社 申込No	請求金額	消費税額	発行 本支社	売上 本支社	掲載 年月日	ｽﾊﾞｰｽ	面	合計 請求金額	広告会社 入力区分
	S11111	001(東京)	001(広告局)	11111111	500,000	25,000	東京	東京	10/1	5D	ｽﾌﾞ面	300,000	x
							大阪	東京	10/1	5D	ｽﾌﾞ面	100,000	
							名古屋	東京	10/1	5D	ｽﾌﾞ面	100,000	
	S11111	001(東京)	001(広告局)	11111111	100,000	5,000	東京	東京				100,000	x
							大阪	東京	10/1	5D	ｽﾌﾞ面	100,000	
							名古屋	東京					
	S11111	001(東京)	001(広告局)	11111111	200,000	10,000	東京	東京	10/1	5D	ｽﾌﾞ面	200,000	x
							大阪	東京					
							名古屋	東京					

4. 請求～支払メッセージ使用例 (照合不一致・本支社別連続訂正)

請求・請求情報 (0410)													
請求No	新聞社 申込No	請求大分類	請求小分類	広告会社 申込No	請求金額	消費税額	発行 本支社	売上 本支社	掲載 年月日	ｽｽﾞ ｽｽﾞ	面	合計 請求金額	
	S11111	001(東京)	001(広告局)	11111111	500,000	25,000	東京	東京	10/1	5D	ｽｽﾞ面	300,000	
							大阪	東京	10/1	5D	ｽｽﾞ面	100,000	
							名古屋	東京	10/1	5D	ｽｽﾞ面	100,000	

請求・訂正情報 (0501)															
請求No	新聞社 申込No	請求大分類	請求小分類	広告会社 申込No	請求金額	消費税額	発行 本支社	売上 本支社	掲載 年月日	ｽｽﾞ ｽｽﾞ	面	合計 請求金額	訂正フラグ	請求 承認	赤黒 請求区分
	S11111	001(東京)	001(広告局)	11111111	500,000	25,000	東京	東京	10/1	5D	ｽｽﾞ面	300,000	x		赤
							大阪	東京	10/1	5D	ｽｽﾞ面	100,000			
							名古屋	東京	10/1	5D	ｽｽﾞ面	100,000	x		
	S11111	001(東京)	001(広告局)	11111111	480,000	24,000	東京	東京	10/1	5D	ｽｽﾞ面	300,000	x		黒
							大阪	東京	10/1	5D	ｽｽﾞ面	80,000			
							名古屋	東京	10/1	5D	ｽｽﾞ面	100,000	x		

請求・訂正情報 (0501)															
請求No	新聞社 申込No	請求大分類	請求小分類	広告会社 申込No	請求金額	消費税額	発行 本支社	売上 本支社	掲載 年月日	ｽｽﾞ ｽｽﾞ	面	合計 請求金額	訂正フラグ	請求 承認	赤黒 請求区分
	S11111	001(東京)	001(広告局)	11111111	500,000	25,000	東京	東京	10/1	5D	ｽｽﾞ面	300,000			赤
							大阪	東京	10/1	5D	ｽｽﾞ面	100,000	x		
							名古屋	東京	10/1	5D	ｽｽﾞ面	100,000	x		
	S11111	001(東京)	001(広告局)	11111111	450,000	22,500	東京	東京	10/1	5D	ｽｽﾞ面	250,000			黒
							大阪	東京	10/1	5D	ｽｽﾞ面	100,000	x		
							名古屋	東京	10/1	5D	ｽｽﾞ面	100,000	x		

請求・訂正承認情報 (0502)															
請求No	新聞社 申込No	請求大分類	請求小分類	広告会社 申込No	請求金額	消費税額	発行 本支社	売上 本支社	掲載 年月日	ｽｽﾞ ｽｽﾞ	面	合計 請求金額	訂正フラグ	請求 承認	赤黒 請求区分
	S11111	001(東京)	001(広告局)	11111111	500,000	25,000	東京	東京	10/1	5D	ｽｽﾞ面	300,000	x		赤
							大阪	東京	10/1	5D	ｽｽﾞ面	100,000		OK	
							名古屋	東京	10/1	5D	ｽｽﾞ面	100,000	x		
	S11111	001(東京)	001(広告局)	11111111	480,000	24,000	東京	東京	10/1	5D	ｽｽﾞ面	300,000	x		黒
							大阪	東京	10/1	5D	ｽｽﾞ面	80,000		OK	
							名古屋	東京	10/1	5D	ｽｽﾞ面	100,000	x		

請求・訂正承認情報 (0502)															
請求No	新聞社 申込No	請求大分類	請求小分類	広告会社 申込No	請求金額	消費税額	発行 本支社	売上 本支社	掲載 年月日	ｽｽﾞ ｽｽﾞ	面	合計 請求金額	訂正フラグ	請求 承認	赤黒 請求区分
	S11111	001(東京)	001(広告局)	11111111	500,000	25,000	東京	東京	10/1	5D	ｽｽﾞ面	300,000			赤
							大阪	東京	10/1	5D	ｽｽﾞ面	100,000	x		
							名古屋	東京	10/1	5D	ｽｽﾞ面	100,000	x		
	S11111	001(東京)	001(広告局)	11111111	430,000	21,500	東京	東京	10/1	5D	ｽｽﾞ面	250,000			黒
							大阪	東京	10/1	5D	ｽｽﾞ面	80,000	x		
							名古屋	東京	10/1	5D	ｽｽﾞ面	100,000	x		

請求・修正情報 (0411)													
請求No	新聞社 申込No	請求大分類	請求小分類	広告会社 申込No	請求金額	消費税額	発行 本支社	売上 本支社	掲載 年月日	ｽｽﾞ ｽｽﾞ	面	合計 請求金額	
	S11111	001(東京)	001(広告局)	11111111	100,000	5,000	東京	東京	10/1	5D	ｽｽﾞ面	100,000	
							大阪	東京					
							名古屋	東京					
	S11111	001(東京)	001(広告局)	11111111	80,000	4,000	東京	東京	10/1	5D	ｽｽﾞ面	80,000	
							大阪	東京					
							名古屋	東京					

支払予定・明細情報 (0503)													
支払No	新聞社 申込No	請求大分類	請求小分類	広告会社 申込No	請求金額	消費税額	発行 本支社	売上 本支社	掲載 年月日	ｽｽﾞ-ｽ	面	合計 請求金額	広告会社 入力区分
	S11111	001(東京)	001(広告局)	11111111	500,000	25,000	東京	東京	10/1	5D	ｽｽﾞ水面	300,000	x
							大阪	東京	10/1	5D	ｽｽﾞ水面	100,000	
							名古屋	東京	10/1	5D	ｽｽﾞ水面	100,000	
請求No	新聞社 申込No	請求大分類	請求小分類	広告会社 申込No	請求金額	消費税額	発行 本支社	売上 本支社	掲載 年月日	ｽｽﾞ-ｽ	面	合計 請求金額	広告会社 入力区分
	S11111	001(東京)	001(広告局)	11111111	100,000	5,000	東京	東京					x
							大阪	東京	10/1	5D	ｽｽﾞ水面	100,000	
							名古屋	東京					
請求No	新聞社 申込No	請求大分類	請求小分類	広告会社 申込No	請求金額	消費税額	発行 本支社	売上 本支社	掲載 年月日	ｽｽﾞ-ｽ	面	合計 請求金額	広告会社 入力区分
	S11111	001(東京)	001(広告局)	11111111	80,000	4,000	東京	東京					x
							大阪	東京	10/1	5D	ｽｽﾞ水面	80,000	
							名古屋	東京					

5. 請求～支払メッセージ使用例（照合不一致・NG、保留）

請求・請求情報 (0410)														
請求No	新聞社 申込No	請求大分類	請求小分類	広告会社 申込No	取引区分	広告種別 名称	請求金額	消費税額	発行 本支社	売上 本支社	掲載 年月日	ｽﾍﾞｰｽ	面	合計 請求金額
	S11111	001(東京)	001(広告局)	11111111	新聞	記事下	500,000	25,000	東京	東京	10/1	5D	ｽﾍﾞｰｽ	300,000
									大阪	東京	10/1	5D	ｽﾍﾞｰｽ	100,000
									名古屋	東京	10/1	5D	ｽﾍﾞｰｽ	100,000

請求・訂正情報 (0501)																	
請求No	新聞社 申込No	請求大分類	請求小分類	広告会社 申込No	取引区分	広告種別 名称	請求金額	消費税額	発行 本支社	売上 本支社	掲載 年月日	ｽﾍﾞｰｽ	面	合計 請求金額	訂正フラグ	請求 承認	赤黒 請求区分
	S11111	001(東京)	001(広告局)	11111111	新聞	記事下	500,000	25,000	東京	東京	10/1	5D	ｽﾍﾞｰｽ	300,000			赤
									大阪	東京	10/1	5D	ｽﾍﾞｰｽ	100,000			
									名古屋	東京	10/1	5D	ｽﾍﾞｰｽ	100,000			

請求No	新聞社 申込No	請求大分類	請求小分類	広告会社 申込No	取引区分	広告種別 名称	請求金額	消費税額	発行 本支社	売上 本支社	掲載 年月日	ｽﾍﾞｰｽ	面	合計 請求金額	訂正フラグ	請求 承認	赤黒 請求区分
	S11111	001(東京)	001(広告局)	11111111	新聞	記事下	360,000	18,000	東京	東京	10/1	5D	ｽﾍﾞｰｽ	200,000			黒
									大阪	東京	10/1	5D	ｽﾍﾞｰｽ	80,000			
									名古屋	東京	10/1	5D	ｽﾍﾞｰｽ	80,000			

請求・訂正承認情報 (0502)																	
請求No	新聞社 申込No	請求大分類	請求小分類	広告会社 申込No	取引区分	広告種別 名称	請求金額	消費税額	発行 本支社	売上 本支社	掲載 年月日	ｽﾍﾞｰｽ	面	合計 請求金額	訂正フラグ	請求 承認	赤黒 請求区分
	S11111	001(東京)	001(広告局)	11111111	新聞	記事下	500,000	25,000	東京	東京	10/1	5D	ｽﾍﾞｰｽ	300,000		OK	赤
									大阪	東京	10/1	5D	ｽﾍﾞｰｽ	100,000		NG	
									名古屋	東京	10/1	5D	ｽﾍﾞｰｽ	100,000		PD	

請求No	新聞社 申込No	請求大分類	請求小分類	広告会社 申込No	取引区分	広告種別 名称	請求金額	消費税額	発行 本支社	売上 本支社	掲載 年月日	ｽﾍﾞｰｽ	面	合計 請求金額	訂正フラグ	請求 承認	赤黒 請求区分
	S11111	001(東京)	001(広告局)	11111111	新聞	記事下	360,000	18,000	東京	東京	10/1	5D	ｽﾍﾞｰｽ	200,000		OK	黒
									大阪	東京	10/1	5D	ｽﾍﾞｰｽ	80,000		NG	
									名古屋	東京	10/1	5D	ｽﾍﾞｰｽ	80,000		PD	

請求・修正情報 (0411)														
請求No	新聞社 申込No	請求大分類	請求小分類	広告会社 申込No	取引区分	広告種別 名称	請求金額	消費税額	発行 本支社	売上 本支社	掲載 年月日	ｽﾍﾞｰｽ	面	合計 請求金額
	S11111	001(東京)	001(広告局)	11111111	新聞	記事下	500,000	25,000	東京	東京	10/1	5D	ｽﾍﾞｰｽ	300,000
									大阪	東京	10/1	5D	ｽﾍﾞｰｽ	100,000
									名古屋	東京	10/1	5D	ｽﾍﾞｰｽ	100,000

請求No	新聞社 申込No	請求大分類	請求小分類	広告会社 申込No	取引区分	広告種別 名称	請求金額	消費税額	発行 本支社	売上 本支社	掲載 年月日	ｽﾍﾞｰｽ	面	合計 請求金額
	S11111	001(東京)	001(広告局)	11111111	新聞	記事下	200,000	10,000	東京	東京	10/1	5D	ｽﾍﾞｰｽ	200,000
									大阪	東京				
									名古屋	東京				

請求・訂正情報 (0501)																	
請求No	新聞社 申込No	請求大分類	請求小分類	広告会社 申込No	取引区分	広告種別 名称	請求金額	消費税額	発行 本支社	売上 本支社	掲載 年月日	ｽﾍﾞｰｽ	面	合計 請求金額	訂正フラグ	請求 承認	赤黒 請求区分
	S11111	001(東京)	001(広告局)	11111111	新聞	記事下	500,000	25,000	東京	東京	10/1	5D	ｽﾍﾞｰｽ	300,000	×		赤
									大阪	東京	10/1	5D	ｽﾍﾞｰｽ	100,000			
									名古屋	東京	10/1	5D	ｽﾍﾞｰｽ	100,000	×		

請求No	新聞社 申込No	請求大分類	請求小分類	広告会社 申込No	取引区分	広告種別 名称	請求金額	消費税額	発行 本支社	売上 本支社	掲載 年月日	ｽﾍﾞｰｽ	面	合計 請求金額	訂正フラグ	請求 承認	赤黒 請求区分
	S11111	001(東京)	001(広告局)	11111111	新聞	記事下	370,000	18,500	東京	東京	10/1	5D	ｽﾍﾞｰｽ	200,000	×		黒
									大阪	東京	10/1	5D	ｽﾍﾞｰｽ	90,000			
									名古屋	東京	10/1	5D	ｽﾍﾞｰｽ	80,000	×		

請求・訂正承認情報 (0502)																	
請求No	新聞社 申込No	請求大分類	請求小分類	広告会社 申込No	取引区分	広告種別 名称	請求金額	消費税額	発行 本支社	売上 本支社	掲載 年月日	ｽﾍﾞｰｽ	面	合計 請求金額	訂正フラグ	請求 承認	赤黒 請求区分
	S11111	001(東京)	001(広告局)	11111111	新聞	記事下	500,000	25,000	東京	東京	10/1	5D	ｽﾍﾞｰｽ	300,000	×		赤
									大阪	東京	10/1	5D	ｽﾍﾞｰｽ	100,000		OK	
									名古屋	東京	10/1	5D	ｽﾍﾞｰｽ	100,000	×		

請求No	新聞社 申込No	請求大分類	請求小分類	広告会社 申込No	取引区分	広告種別 名称	請求金額	消費税額	発行 本支社	売上 本支社	掲載 年月日	ｽﾍﾞｰｽ	面	合計 請求金額	訂正フラグ	請求 承認	赤黒 請求区分
	S11111	001(東京)	001(広告局)	11111111	新聞	記事下	370,000	18,500	東京	東京	10/1	5D	ｽﾍﾞｰｽ	200,000	×		黒
									大阪	東京	10/1	5D	ｽﾍﾞｰｽ	90,000		OK	
									名古屋	東京	10/1	5D	ｽﾍﾞｰｽ	80,000	×		

請求・修正情報 (0411)

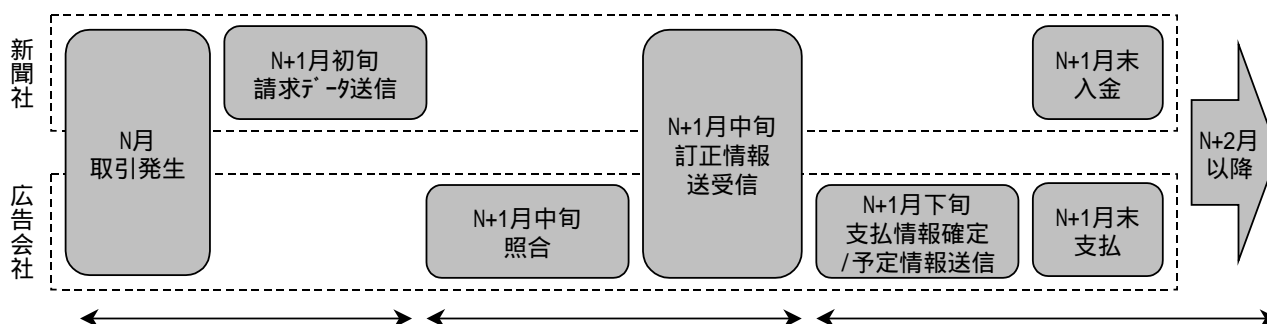
請求No	新聞社 申込No	請求大分類	請求小分類	広告会社 申込No	取引区分	広告種別 名称	請求金額	消費税額	発行 本支社	売上 本支社	掲載 年月日	λ ^Λ -λ	面	合計 請求金額
	S11111	001(東京)	001(広告局)	11111111	新聞	記事下	100,000	5,000	東京 大阪 名古屋	東京 東京 東京	10/1		5D スボ面	100,000
請求No	新聞社 申込No	請求大分類	請求小分類	広告会社 申込No	取引区分	広告種別 名称	請求金額	消費税額	発行 本支社	売上 本支社	掲載 年月日	λ ^Λ -λ	面	合計 請求金額
	S11111	001(東京)	001(広告局)	11111111	新聞	記事下	90,000	4,500	東京 大阪 名古屋	東京 東京 東京	10/1		5D スボ面	90,000

支払予定・明細情報 (0503)

支払No	新聞社 申込No	請求大分類	請求小分類	広告会社 申込No	取引区分	広告種別 名称	請求金額	消費税額	発行 本支社	売上 本支社	掲載 年月日	λ ^Λ -λ	面	合計 請求金額	広告会社 入力区分
	S11111	001(東京)	001(広告局)	11111111	新聞	記事下	500,000	25,000	東京 大阪 名古屋	東京 東京 東京	10/1		5D スボ面	300,000	x
														100,000	
														100,000	
請求No	新聞社 申込No	請求大分類	請求小分類	広告会社 申込No	取引区分	広告種別 名称	請求金額	消費税額	発行 本支社	売上 本支社	掲載 年月日	λ ^Λ -λ	面	合計 請求金額	広告会社 入力区分
	S11111	001(東京)	001(広告局)	11111111	新聞	記事下	400,000	20,000	東京 大阪 名古屋	東京 東京 東京	10/1		5D スボ面	300,000	x
														100,000	
請求No	新聞社 申込No	請求大分類	請求小分類	広告会社 申込No	取引区分	広告種別 名称	請求金額	消費税額	発行 本支社	売上 本支社	掲載 年月日	λ ^Λ -λ	面	合計 請求金額	広告会社 入力区分
	S11111	001(東京)	001(広告局)	11111111	新聞	記事下	200,000	10,000	東京 大阪 名古屋	東京 東京 東京	10/1		5D スボ面	200,000	x
請求No	新聞社 申込No	請求大分類	請求小分類	広告会社 申込No	取引区分	広告種別 名称	請求金額	消費税額	発行 本支社	売上 本支社	掲載 年月日	λ ^Λ -λ	面	合計 請求金額	広告会社 入力区分
	S11111	001(東京)	001(広告局)	11111111	新聞	記事下	100,000	5,000	東京 大阪 名古屋	東京 東京 東京	10/1		5D スボ面	100,000	x
請求No	新聞社 申込No	請求大分類	請求小分類	広告会社 申込No	取引区分	広告種別 名称	請求金額	消費税額	発行 本支社	売上 本支社	掲載 年月日	λ ^Λ -λ	面	合計 請求金額	広告会社 入力区分
	S11111	001(東京)	001(広告局)	11111111	新聞	記事下	90,000	4,500	東京 大阪 名古屋	東京 東京 東京	10/1		5D スボ面	90,000	x

< 参考：訂正意向の発生タイミングと対応 >

○訂正意向の発生タイミング（N月実施分、支払条件：買掛 30 日の場合）



新聞社からの請求データ送信前に訂正意向が発生した場合

- ・新聞社にて意向発生
電話連絡等に基づき、各社にて計上データの修正を実施。
- ・広告会社にて意向発生
同上。

広告会社にて支払情報が確定される前に訂正意向が発生した場合

- ・新聞社にて意向発生
新聞社は広告会社へ電話等で連絡し、広告会社より請求・訂正情報送信。
- ・広告会社にて訂正意向発生
新聞社へ請求・訂正情報送信。

支払確定後に訂正意向が発生した場合

- ・新聞社にて意向発生
新聞社は請求・訂正承認情報に基づく請求・請求（修正）情報を広告会社へ送信。当該データに加えて、訂正意向を反映させる別の請求データを N+1 月以降に送信。
なお、上記の請求・訂正承認情報に基づく請求・請求（修正）情報へ直接訂正意向を反映させることは不可とする。
- ・広告会社にて意向発生
広告会社は新聞社へ電話等で連絡し、内容に問題がなければ、N+1 月以降、新聞社から訂正意向を反映した請求データを送信。

5 . データ項目の利用

5 . 1 データ項目の取り扱い

データ項目の内容とデータタグ No は、標準メッセージに規定されている通りの利用を行なう。当事者間での取り決めで、タグ No の変更や追加を行うことはできない。

5 . 2 特殊なデータ項目の利用

(1) フリー項目(40030)の利用

「フリー項目」は新聞社とそのグループの広告会社間でのみ利用する項目で、特に標準メッセージで定義されていない特殊なデータ項目が発生した場合に使用する。

「フリー項目」は、K 属性(日本語)50文字(100BYTE)で定義し、内容は自由に設定が可能である。

ただし、新聞社とそのグループ広告会社以外で標準メッセージに定義されていないデータ項目が必要となった場合は、原則として下記(2)の手順に従い、暫定タグ No の申請が必要である。

(2) 特殊なデータ項目用暫定タグ No の申請及び採番

標準メッセージに定義されていない特殊なデータ項目を利用する場合、以下の手順によりタグ No の申請を行う必要がある。

- ・特殊なデータ項目を使用したい旨を(社)日本新聞協会の広告 E D I 部会、または(社)日本広告業協会の E D I 推進小委員会に申請する。
- ・データ項目の内容を確認し、両委員会にて標準メッセージへの取込が必要かどうか検討を行う。
- ・標準メッセージ上不足する項目については、暫定的に使用するタグ No を割り当てる。なお、暫定タグ No として、40,900~40,999を使用する。
- ・標準メッセージへの取込が可能な項目については、次バージョンで正式なタグ No を設定する。

6 . 業務コードの利用

6 . 1 統一企業コード

「統一企業コード」は12桁で表現され、上6桁は「標準企業コード」を設定する。

下6桁は自社で自由に採番することができるが、1度公表した「統一企業コード」の変更は、原則行えないこととする。

「標準企業コード(上6桁)」は、(財)日本情報処理開発協会/産業情報化推進センター(CII)に申請して取得を行い、各社で固有とする。

「広告会社企業コード」「新聞社企業コード」の上6桁には、全てこの「標準企業コード」を使用する。

なお、各社内での部署の判断は、「広告会社発注部署コード」、「新聞社受注部署コード」で行い、「統一企業コード」では行わない。

6 . 2 新聞社固有コードへの対応

共通化や標準化のできない、新聞社固有のコード体系をもつ項目は、以下の通りである。

- ・新聞社受注部署コード
- ・広告会社発注部署コード
- ・業種コード
- ・掲載申込・媒体
- ・掲載申込・本紙/別刷
- ・広告種別・小分類
- ・掲載希望面・コード
- ・掲載範囲コード
- ・掲載・媒体
- ・掲載・本紙/別刷
- ・掲載・面コード
- ・掲載地区・コード

新聞社受注部署コード、広告会社発注部署コード、業種コード、広告種別・小分類、掲載希望面・コード、掲載・面コード、掲載地区・コードについては、名称(日本語文字情報)で判断することを原則とし、コードでの運用は行わない形とする。

これらのコードについては、コード体系、管理方法を検討の上、今後標準化を定めていく。